

第3回キャビネット会議

2015-2016年

別添資料

目 次

国際本部からの到着文書

●第29回ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト	1
●第38回国連ライオンズ・デーについて	2 - 4
●ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ 2016 について	5 - 7
●100周年記念コーディネーター向けワークショップについて	8
●難民問題への LCIF の対応	9
●国際会長からのメッセージ（地区ガバナー宛）	10 - 12
●国際会長からのメッセージ（会員宛）	13 - 17
●ニュースワイヤー	18 - 21
●100周年コーディネーターニュースレター	22 - 24
●LCIF 関連情報	25 - 29

日本ライオンズ連絡事務所からの到着文書

●2015-2016年度上半期結成ライオンズクラブ	30
●LCIF 拠出金一覧表（2015年10 - 12月分）	31 - 36
●LCIF 創設50周年記念献金（後期）資料	37

その他

●LCIF 創設50周年記念キャンペーンについて	38
●LCIF 創設50周年1人当たり献金額（月別累計）	39
●2016 - 2017年度会員増強目標ガイドライン	40
●第2回複合地区 GLT コーディネーター会議要録	41 - 44
●100周年実行委員会会議報告	45
●レガシー・プロジェクトについて	46 - 49
●336複合地区第1回100周年記念コーディネーター会議要録	50 - 51
●第2回複合地区会則委員長連絡会議要録	52 - 54
●第1回336複合地区会則運営マニュアル編集委員会要録	55 - 56
●第1回複合地区 IT 委員長連絡会議要録	57 - 58
●第2回複合地区 IT 委員長（ウェブ）連絡会議要録	59 - 60
●第2回準地区 IT 委員長連絡会議要録	61 - 62
●第2回複合地区 YCE 委員長連絡会議要録	63 - 66
●第2回準地区 YCE 委員長連絡会議要録	67 - 70
●第2回複合地区国際大会委員長連絡会議要録	71 - 74
●第1回準地区青少年・LQ・RAP 委員長連絡会議要録	75 - 77
●ライオンズ環境保全写真コンテストについて	78
●第4回ライオン誌日本語版委員会報告書	79 - 81
●第5回ライオン誌日本語版委員会報告書	82 - 84
●第6回ライオン誌日本語版委員会報告書	85 - 87
●100周年コーディネーターニュースレター	88 - 89
●国連ライオンズデー（LDUN）への参加ご案内	90 - 92

第29回ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

平和、万歳！



ライオンズ国際平和ポスター・コンテストをスポンサーし、世界のクラブと共に、平和に対する子供たちのビジョンを地域社会と分かち合おう。

コンテストの審査方法

ライオンズクラブが地元の学校又は青少年団体でのコンテストをスポンサーする。コンテストに応募できるのは、2016年11月15日に年齢が11歳から13歳の生徒である。応募者は、コンテストのテーマ「平和、万歳！」に対する自分の考えをポスターで視覚的に表現する。

クラブがスポンサーする各コンテストにつき1点の作品が選ばれ、地区ガバナーに提出されて地区の審査を受ける。地区レベルのコンテストで作品が1点選ばれ、複合地区コンテストへと進む。複合地区コンテストで選ばれた1点の作品が国際本部へ送られ、最終審査を受ける。応募作品は、どのレベルの審査においても、独創性、芸術的価値、テーマの表現を基準に評価される。

最終審査で、世界各地を代表して提出された多数の応募作品の中から23点の優秀賞受賞作品と1点の大賞受賞作品が選ばれる。

賞

国際レベルの最終審査に進んだ応募者は、次のように表彰される。

- ・国際大賞受賞者は、授賞式に無料招待され、その席でUS\$5,000（又は自国通貨での相当額）の賞金と記念の権が受賞者に贈られる。家族二人（家族の一人は親か法的保護者であること）及びスポンサー・ライオンズクラブの会長（又はクラブ会長から指名されてその代理を務めるクラブ会員）が受賞者に同伴する。
- ・23人の優秀賞受賞者には、それぞれUS\$500（又は自国通貨での相当額）の賞金と表彰状が贈られる。

平和ポスター・コンテスト・キットの注文先：

ライオンズクラブ国際協会日本事務所
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17
TOCビル6階16号 私書箱445
☎(03)3494-2931 ファックス(03)3494-2933
Eメール lcijapan@amber.plala.or.jp

平和ポスター・コンテスト・キット(PPK-1)1式US\$14.40を
_____式 注文します。(代金の他に送料が加算される。)

希望国語 _____ 日本語 _____

支払い方法

請求先口座番号(クラブまたは地区) _____

(上記口座番号がクラブまたは地区のいずれか○で囲む)

クラブまたは地区名 _____

役員署名【必須】 _____

(上記口座番号がクラブまたは地区のいずれか○で囲む)

応募要領

平和ポスター・コンテスト・キットの注文は、東京都品川区の日本事務所にする。キットの値段は1式US\$14.40である。各キットには、クラブが一つ*の学校又は青少年団体のコンテストをスポンサーするのに必要な以下のアイテムが全て入っている。

- ・公式クラブ・コンテスト手引き及び規定
- ・公式学校又は青少年グループ・コンテスト手引き及び規定
- ・応募者のためのパンフレット。コンテストに応募する生徒が家に持ち帰られるよう、複写することができる。
- ・入賞作品の裏に貼るためのステッカー
- ・学校又は青少年団体への感謝状とコンテスト入賞者への表彰状

*クラブは同じ学校及び(又は)青少年グループ内で、あるいは複数の学校及び(又は)青少年グループで、複数のコンテストをスポンサーできる。その場合には、スポンサーする各コンテストにつきキットを1式ずつ購入すること。スポンサーするコンテスト毎にポスターを1点選んで、次の段階の審査に提出することができる。

ライオンズクラブ国際作文コンテストの応募用紙も本キットに同封されている。また、国際協会ウェブサイトにも掲載されている。

今すぐ注文

キットは、2016年1月15日から10月1日まで入手可能である。キットの郵送とコンテスト参加計画に十分な時間が取れるよう、できるだけ早めに注文する。

平和ポスター・コンテスト・キット(PPK-1)の注文にはこの注文用紙を使用し、ライオンズクラブ国際協会日本事務所(〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17 TOCビル 6階16号 私書箱445、電話：(03)3494-2931、FAX：(03)3494-2933、Eメール：lcijapan@amber.plala.or.jp)に送る。

国際協会ウェブサイトwww.lionsclubs.org(「平和ポスター」で検索)に、コンテストに関する詳細と応募締切日、これまでの最終審査入賞作品が掲載されている。また、ビデオもダウンロードできる。

キットの送付先：

クラブ(地区)名 _____

住所 〒 _____

*私書箱へは送付できません。

日中の連絡先電話番号(必須) _____

Eメール・アドレス _____



Lions Clubs International

ライオン各位

2016年3月12日土曜日にニューヨークの国連本部で開催される 第38回国連ライオンズ・デー (LDUN) にぜひご参加ください。

カーター・センターとUNウィメンを取り上げた本年度のプログラムをお楽しみいただくとともに、今年度の国際平和ポスター・コンテストおよび作文コンテストの受賞者を祝福する最初の人となりましょう。LDUN参加者の皆様は、ご希望により、国連のデリゲーツ・ダイニング・ルーム内で開かれる人気のライオンズ・国連特別昼食会にも、招待された大使と共にご参加いただけます。座席数に限りがあることから、受け付けは先着順となります。お早めにご予約ください！

今年度の正式なLDUNの本部ホテルは、グランドハイアット・ニューヨーク・ホテルとなります。今年度も、3月11日金曜午前10時～午後4時に、当ホテルにおいて登録資料の早期受取サービスをご提供いたします。イベントのバッジ、プログラムなどを受け取られるのに便利です。

LDUNの全参加者のための国際歓迎レセプションは、当ホテルのギャラリー・ルームで午後4時～6時に開催されます。キャッシュバーがございましたので、国際協会の執行役員、他の参加者やスタッフと会って交流していただけます。登録資料には無料のドリンク券が一つ含まれており、レセプションの際にご利用できます。

予定を押さえておいてください。国連との協力関係設立70周年を記念する特別VIP祝賀晩餐会は、3月11日金曜午後7時～11時に、グランドハイアットのマンハッタン・ボールルームで行われ、現金または小切手で支払い可能です。この魅惑的な夜会をぜひお見逃しなく！詳細は追ってお知らせいたします。

国連ライオンズ・デーは、人気のライオンズ・国連特別昼食会と同じく、売り切れが予想されます。国際協会の、国連ライオンズ・デーのページからオンラインで登録し、プログラムの詳細情報や国連における個々のツアーに関する情報を入手してください。

ご不明な点、あるいはお手伝いできることがございましたら、国際本部のナタリー・ブレインまでご連絡ください。(電話1-630-468-6893 またはEメール natalie.brain@lionsclubs.org)

よろしく願いいたします。

元国際会長
アル・ブランデル

MD336.Lions Clubs Int'l

差出人: Merz, Yoshiko <Yoshiko.Merz@lionsclubs.org>
送信日時: 2015年12月22日火曜日 16:20
宛先: 330-A; 330-B; 330-C; 331-A; 331-B (2015-2016); 331-C (2015-2016); 332-A; 332-B; 332-C; 332-D ; 332-E ; 332-F ; 333-A; 333-B; 333-C; 333-D; 333-E (2015-2016) ; 334-A; 334-B (2015-2016); 334-C; 334-D (2015-2016); 334-E ; 335-A ; 335-B; 335-C; 335-D; 336-A (2015-2016); 336-B; 336-C (2015-2016); 336-D (2015-2016); 337-A (2015-2016); 337-B (2015-2016); 337-C; 337-D (2015-2016); 337-E
CC: Japan Lions Office (Ms. Hamada); Manager Watanabe, LCI Japan Office; MD 330; MD 331; MD 332; MD 333; MD 334; MD 335; MD 336; MD 337; Merz, Yoshiko
件名: RE: 重要なお知らせ- 国連デー (LDUN) 参加のご案内

日本ライオンズ各地区キャビネット幹事様および事務局ご担当者様

お世話になっております。

早速ですが、来年3月12日にニューヨーク国連本部で開催されるライオンズ国連デーへのご参加についてご案内を申し上げます。この行事は、役職の制限等は一切なく、関心があるライオンズ会員であればどなたでも参加いただけます。国際協会ウェブサイトおよびライオン誌日本語版でも案内がされておりますが、以下補足させていただきます。年末年始のあわただしい時ではありますが、地区内クラブ等に呼びかけていただけましたら幸いです。

1. 行事の内容 国際連合とライオンズ国際協会の長年にわたる協力関係を記念し、双方が協力し合っている分野について国連関係者、ライオンズ会員が一堂に会す機会として年1回実施されています。

2. 参加資格 ライオンズ会員であればどなたでも参加できます。参加料は75ドルです。人数は申し込み順で定員に達しますと締め切ります。特に、執行役員や大使を囲んでの昼食会は100名程度で締め切られます。この昼食会には別途55ドル必要です。ホテル代は各自ホテルで支払います。

3. 行事日程(暫定)

3月11日(金) 9時15分から4時15分の間国連見学ツアー(オプション—事前登録と別途料金が必要)
4時から6時 グランド・ハイアットホテルロビーでのインターナショナル・レセプション

3月12日(土) 国連会議場にて、10時から4時半まで、「国連ライオンズデー」

今年のテーマは「性の平等と平和」 女性への暴力的尊厳の侵害について、国連の取り組みやライオンズの取り組みをスピーチやパネルディスカッションを通して考えるほか、カーター・

センターとの活動にもスポットライトを当てます。日本代表国連大使のスピーチも予定されています。

また、例年通り、平和ポスターコンテストの大賞受賞者の発表も行われます。

この日、国連内で大使や国際協会幹部を囲んでの昼食会が行われます。

4. その他 今年度は、国際協会太平洋アジア課日本語職員の同行、日本語同時通訳が予定されています

5. 宿泊先 どのホテルに宿泊されても構いませんが、国際協会本部ホテルは42番街にあるグランド・ハイアット・ニューヨークです。こちらのホテルであれば、予約手配を国際協会が受け付けます。支払いは各自がホテルで行います。

6. 申し込み 通常は各自オンラインで行っていただきますが、今年度は日本ライオンズ(連絡)事務所と

りまとめていただいておりますので、各自英語のサイトから登録する必要がありません。氏名等基本情報のほか、ホテル宿泊希望の有無(有りの場合、チェックインとチェックアウトの日)、昼食会申し込み希望の有無、国連見学ツアー申し込み希望の有無をご連絡の上申し込んでください。追って詳しい情報は国際協会から、または日本ライオンズ(連絡)事務所経由でご連絡いたします。

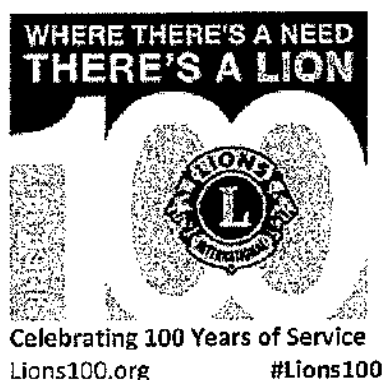
通常は参加が困難な国連デーですが、特別に日本語での対応がされている今回、ぜひ多くの方々の参加を呼び掛けていただきますようお願い申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会

太平洋アジア課

Eメール：pacificasian@lionsclubs.org

FAX: 1-630-203-3777



写:各複合地区ガバナー協議会事務局、ライオンズ連絡事務所、ライオンズクラブ国際協会日本事務所



ライオンズ・ゴルファーの皆様

美しい台湾・高雄にて開催される、ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ2016についてご案内申し上げます。このイベントは、2016年2月22日～27日に、三つの世界的レベルのゴルフコースにて開かれます (<https://www.youtube.com/watch?v=5eEXW2C7qs>)。イベントは、日本人デザイナー渡辺弘氏によって設計された「信誼(シンイ)ゴルフクラブ」からスタートします。続く「高雄(カオシュン)ゴルフ&カントリークラブ」は、澄清湖畔のほとりに位置し、台湾オープンゴルフ・チャンピオンシップや、台湾で行われた金米プロゴルフ選手権の舞台ともなった、名高いクラブです。最後の会場は「大崗山(タカンシャン)ゴルフ・カントリークラブ」で、コースを取り巻く自然美との調和を体験できる有名コースでのコンペとなります。いずれも、プロアマ問わず楽しめるコースとなっております。日程は、各コースでの終日練習(2月22日～24日)と、その後3日間のコンペ(2月25日～27日)とに分かれています。

お泊りは、高雄のザ・グランドホテルにてお部屋をご用意いたします。高雄国際空港から車でほんの30分、澄清湖畔を臨む五つ星ホテルです。何よりも、この特別イベントはライオンズクラブ国際財団のプログラムを支援するものです。参加すれば、ゴルフの腕を競いながら人脈を広げることができるだけでなく、LCIFを通じ人道的奉仕に寄与することもできます。ゴルフでよりよい世界を築くことができます！限定パッケージの数は限られていますので、今すぐ<http://www.lionsgolf.net/>からご登録ください。また、ご不明な点があれば、お気軽に主催者(lions.golf.net@gmail.com)までお問い合わせください。このワールドクラスのイベントに奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。ご予約は今すぐ！

LCIF理事長
前国際会長
ジョー・プレストン

登録情報

参加者には、ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ2016の口座にUS\$3,000をご送金いただきます。

1. 銀行名: Taiwan Cooperative Bank
2. 所在地: 99, Tayong Road, Kaohsiung, Taiwan, R.O.C.
3. 電話: +886-7-551-4221
4. SWIFT番号: TACBTWTP034
5. 口座番号: 078 018 800 1152
6. 口座名称: Lions Clubs International District 300-E1 LGWC 2016

ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ2016参加費のうち、US\$1,000はLCIFへの寄付金として送られます。この寄付により、参加者には相当するMJFまたは累計MJFレベルが贈られます。

残るUS\$2,000は、グリーンフィー、キャディーフィー、グランドホテル高雄7泊分の宿泊費、2回の晩餐会(ショーあり)、5回の夕食、贈答品、交通費に充てられます。また、プロのゴルフ選手及びコーチには、参加賞が贈られます。

送金が完了しましたら、送金の証明をEメールまたはFAXにてご送付ください。lions.golf.net@gmail.com
+886-7-225-0953

ご質問や詳細については、Joint Office of International Directors in Taiwan(+886-7-225-5309)までお問い合わせください。



Lions Clubs International FOUNDATION

300 W 22ND STREET • OAK BROOK, ILLINOIS 60520-8842 USA • 630-571-5466 • WWW.LCIF.ORG

2015年12月25日

ライオンズ・ゴルファーの皆様

美しい台湾・高雄にて開催される、ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ2016についてご案内申し上げます。このイベントは、2016年2月22日～27日に、三つの世界的レベルのゴルフコースにて開かれます(<https://www.youtube.com/watch?v=5eEXWl2C7qs>)。

イベントは、日本人デザイナー渡辺弘氏によって設計された「儂誼（シンイ）ゴルフクラブ」からスタートします。続く「高雄（カオシュン）ゴルフ&カントリークラブ」は、澄清湖のほとりに位置し、台湾オープンゴルフ・チャンピオンシップや、台湾で行われた全米プロゴルフ選手権の舞台ともなった、名高いクラブです。最後の会場は「大崗山（タカンシャン）ゴルフ・カントリークラブ」で、コースを取り巻く自然美との調和を体験できる有名コースでのコンペとなります。

いずれも、プロアマ問わず楽しめるコースとなっております。日程は、各コースでの終日練習（2月22日～24日）と、その後3日間のコンペ（2月25日～27日）とに分かれています。

お泊りは、高雄のザ・グランドホテルにてお部屋をご用意いたします。高雄国際空港から車でほんの30分、澄清湖畔を臨む五つ星ホテルです。

何よりも、この特別イベントはライオンズクラブ国際財団のプログラムを支援するものです。参加すれば、ゴルフの腕を競いながら人脈を広げることができるだけでなく、LCIFを通じ人道的奉仕に寄与することもできます。ゴルフでよりよい世界を築くことができます！

限定パッケージの数は限られていますので、今すぐ<http://www.lionsgolf.net/>からご登録ください。また、ご不明な点があれば、お気軽に主催者（lions.golf.net@gmail.com）までお問い合わせください。このワールドクラスのイベントに奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。ご予約は今すぐ！

LCIF 理事長
前国際会長
ジョー・プレストン

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.



Lions Clubs International FOUNDATION

300 W. RANDS REEF - OAK BROOK, ILLINOIS 60523-8842 USA +830.377.5466 WWW.LCIF.ORG

登録情報

参加者には、ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ 2016 の口座に US\$3,000 をご送金いただきます。

- 1.銀行名 : Taiwan Cooperative Bank
- 2.所在地 : 99, Tayong Road, Kaohsiung, Taiwan, R.O.C.
- 3.電話 : +886-7-551-4221
- 4.SWIFT 番号 : TACBTWTP034
- 5.口座番号 : 078 018 800 1152
- 6.口座名称 : Lions Clubs International District 300-E1 LGWC 2016

ライオンズ・ゴルフ世界チャンピオンシップ 2016 参加費のうち、US\$1,000 は LCIF への寄付金として送られます。この寄付により、参加者には相当する MJF または累計 MJF レベルが贈られます。

残る US\$2,000 は、グリーンフィー、キャディーフィー、グランドホテル高雄 7 泊分の宿泊費、2 回の晩餐会（ショーあり）、5 回の夕食、贈答品、交通費に充てられます。また、プロのゴルフ選手及びコーチには、参加賞が贈られます。

送金が完了しましたら、送金の証明を E メールまたは FAX にてご送付ください。

(lions.golf.net@gmail.com +886-7-225-0953

ご質問や詳細については、Joint Office of International Directors in Taiwan

(+886-7-225-5309) までお問い合わせください。

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.



Lions Clubs International

100周年記念コーディネーター各位

1月～2月に、複合地区/単一地区100周年記念コーディネーターを対象とした研修ワークショップが、GLTエリアリーダーによって実施されます。

この参加型ワークショップは、他地区の100周年記念コーディネーターと知り合い、また自身の役割について学んで、すべてのライオンズの100周年記念への気持ちを盛り上げるためのアイデアを分かち合うチャンスとなります。さらに、地区100周年記念コーディネーター向けワークショップの実施についても説明があります。

あなたのエリアにおける研修について質問がありましたら、担当のGLTエリアリーダーまでお問い合わせください。また、リーダーシップ開発部(電話 +1 630-468-6703、Eメール glf@lionsclubs.org)にご連絡いただくこともできます。



地区ガバナーおよび LCIF 地区コーディネーター各位

現在、国際社会では難民問題が危機的状況に陥っています。中東をはじめとする諸地域における紛争によって、数百万人が故郷を追われ、安全と新たな機会を国外に求めたり、自国内での避難を余儀なくされています。こうした難民の多くは所持品も殆どないまま移動しており、食料や避難施設、暖かい衣服などの必需品の即時支援が必要です。ライオンズはこの状況を見過ごすことはできません。

この危機的状況の影響を受ける国に居住しているかどうかに関わらず、多くのライオンズが自分の地域内で基本的な人道上のニーズに対応しています。地域のニーズや現在のライオンズの活動、今後の対応の機会を評価するために、難民ステアリング委員会が設置されました。ライオンズクラブ国際協会は情報を活用し、ライオンズが支援と奉仕を行うための指針とリソースを作成します。この危機的状況の影響を受ける人々を支援するために、ライオンズクラブ国際財団では災害援助基金を通じて寄付を募っています。これらの基金は、難民の緊急ニーズの支援に取り組むライオンズクラブや地区に交付されます。基金に余裕があれば、長期的な大規模事業も検討することができます。

難民問題への取り組みに対する寄付を、皆さまの地区のライオンズやクラブに呼びかけてください。災害援助基金への寄付については、www.lcif.org をご覧ください。また、小切手や振込での寄付方法については [こちら](#) をクリックしてください。難民のニーズは非常に多岐に渡りますが、私たちが力を合わせれば、困難に直面する人々を支援し希望をもたらすことができます。

よろしくお願いいたします。

山田 貴雄
国際会長
ライオンズクラブ国際協会

ジョー・プレストン
理事長
ライオンズクラブ国際財団

ライオンズリーダー各位

地区ガバナー全員に送信したメッセージを、皆様にも配信させていただきます。

また、ライオンズが優先すべきグローバルな奉仕を決めるのに役立つアンケートがすべての元国際会長、国際理事、元国際理事、協議会議長、地区ガバナー、複合地区事務局に11月下旬に送られることもお伝えいたします。このアンケートは、1月中旬に全世界のすべてのライオンにも送られる予定です。アンケートがお手元に届きましたらお答えくださいますようお願いいたします。そして、お仲間のライオンズにも協力を促してください。

貴地区における会員増強と新クラブ結成に向けた地区ガバナーの取り組みを引き続きご支援ください。また、地区内の各クラブが今年度3人の新会員を加え、100周年記念奉仕チャレンジの青少年、視力、飢え、環境の各分野において一つの奉仕事業を実施するよう働きかけてください。力を合わせれば地区を強化し、100周年記念を成功させることができるのです。

どうぞよろしくお願いいたします。

山田實紘



地区ガバナー各位

11月30日は目前に迫っています。「ライオンズの尊厳」アワードの第1期を有終の美で飾る準備を整えてください。以下のことを心に留め、最大限の表彰を受けてしてください。

- 地区において会員増強を達成し、シルバーピンを獲得しましょう。純増を達成し、かつ新クラブを一つ結成すれば、ゴールドピンを獲得できます。
- 第1期の表彰の対象として計算されるには、新会員及びチャーターメンバーを11月30日までに国際協会に報告する必要があります。
- アワードの詳細については「ライオンズの尊厳」ウェブサイトでご確認ください。

今こそ勢いを保ち続ける時です。あなたは第1期を通じ、地区の強化に尽力してこられました。その調子で努力を続け、11月末の表彰を目指して前進してください。

「ライオンズの尊厳」アワードを獲得できる期間は2回だけであることを心に留めて、第1期に受賞する機会を逃さないでください！

どうぞよろしくお願いいたします。

国際会長
山田實紘

奉仕の未来の形成にご協力ください！

100年近くにわたってライオンズクラブ国際協会は奉仕におけるグローバルリーダーであろうと努力をしてきました。地域社会と国際社会のニーズの変化とともに、ライオンズが優先する奉仕も変化しなければなりません。ライオンズの次なる奉仕の世紀への準備が確実に整うよう、世界規模で取り組むべき奉仕の優先事項を決める上で皆さんのご協力が必要です。

11月下旬にアンケートがすべての地区ガバナー、元国際会長、国際理事、元国際理事、協議会議長、複合地区事務局に配信されます。1月中旬には、世界中のすべてのライオンズにも配信されます。アンケートが届きましたら、ご協力をお願いいたします。そして、1月には他のライオンズに協力を促してください。

クラブ会長賞

クラブがその可能性を最大限に伸ばす手助けをするとともに、特別な表彰を受けるチャンスをクラブ会長に提供するため、私は「成功への7つの鍵」を導入しました。引き続きクラブ会長賞をクラブのリーダーたちに推進し、2015～2016年度を通じてアワード申請書を提出するよう励ましてください。



その他の重要事項

以下の事項も、確実に成功を目指す上でとても重要です。

- 地区内のクラブに、今年度3人の新会員招請を目標とすることを奨励してください。新会員を招請し維持することで100周年記念会員増強賞の累進レベルの表彰を受けられることについてライオンズの認識を高めてください。
- クラブには、1月10～16日の「飢饉と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」に向けた特別事業の実施を奨励してください。
- 今こそ、GLTと共に策定したリーダーシップ育成の目標を見直して必要な調整を行動計画に加える好機です。
- GLTが現リーダーたちを支援し新たな目標策定を手助けしてくれることを、クラブに改めてお伝えください。また、ライオンズ学習センターのオンライン研修を利用するようクラブに促してください。

ライオンズリーダー各位

地区ガバナーに宛てた私の12月のメッセージを、皆様にも配信させていただきます。また、この機会に今年度前半における皆様のご尽力にも感謝を申し上げます。年末年始にかけて、エリア内の各クラブには、地域の食料支援や貧困対策に当たる事業を主催するよう呼びかけていただければ幸いです。ライオンズクラブ国際協会を代表し、皆様のこの1年のご支援に御礼申し上げますとともに、年末年始のご多幸をお祈りいたします。

山田 實紘



地区ガバナー各位

今年度私たちは偉大なことを成し遂げようと決心しました。そしてホノルルで分かち合った目標を目指し皆さんが熱心に努力してくださっているおかげで、達成に向けて前進しています。

われわれは、奉仕で地域を強化し人々に尊厳をもたらすことを志し、100周年記念奉仕チャレンジを通じてその決意を行動に移しています。各クラブには、人々の人生を変え地域をより良くするこの国際レベルのチャレンジに引き続き参加することで、「奉仕を通して導く」ようお勧めください。

私たちは会員増強を優先事項に決めました。そして今、各地区での会員増強に勤しむ皆様のご尽力のお陰で、奉仕の力を拡大しクラブの引き続きの発展を確かなものとしてくれる新会員が増え続けています。

私たちは新クラブの結成が成長と発展のカギだと考えました。そして今、新たな地域で新クラブが次々と生まれ、人助けを志す新世代のライオンズを迎え入れています。

皆さんが成し遂げてくださったことを誇らしく思います。「ライオンズの尊厳」アワード第1期に目標を達成した地区ガバナーの皆さんを表彰できることを楽しみにしていますし、力を合わせてさらに多くを成し遂げられると確信しています。

奉仕を通じて人々に尊厳をもたらしてくださっていることに、感謝申し上げます。ご家族やご友人と、楽しい年末年始をお過ごしください。

国際会長
山田 實紘

クラブのリーダーに宛てた私の11月のメッセージを、皆さんにもお送りいたします。

私は、クラブのリーダーがグローバル指導力育成チーム (GLT) とライオンズクラブ国際協会のリーダーシップ育成の機会を利用することを奨励しています。現役のリーダーを支援するとともに新たなリーダー育成を手助けするためにライオンズクラブ国際協会と地域担当のGLTが存在することを、クラブに改めてお伝えください。またクラブには、10月10～16日の「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」に向けた特別事業を実施するようお願いしています。力を合わせればライオンズのリーダーシップ、そしてクラブを強化できるのです

どうぞよろしく願いいたします。

山田實紘



ライオンズ会員各位

皆さんはクラブの役員として、クラブを新たなレベルでの成功に向けてリードする機会をお持ちです。優れたリーダーは会員に新たな活力を与え、奉仕の質を高めると同時に、クラブで取り組む100周年記念行事を心に残るものとすることができます。

優れたリーダーシップは単なる天賦の才能ではありません。リーダーとしてその最大限の可能性を発揮するために継続的に向上させなければならないのが、スキルです。ライオンズにおいてリーダーシップのスキルを伸ばす素晴らしい機会をすべて利用するよう、リーダーの皆さんとクラブにお勧めいたします。

まずはグローバル指導力育成チームに連絡することから始めてください。地区コーディネーターは、新しいリーダーの育成はもとより、経験豊富なリーダーが地区、さらにはその上のレベルでより大きな役目を担う準備が整うようにするためにも、地域における研修の機会を推奨したり企画することができます。皆さんやクラブの会員が向上したいと望むスキルを磨くのに役立つ自習コースや個別指導、そしてウェビナーなど、ライオンズクラブ国際協会が設けているオンライン学習コースを、ご都合の良い時に利用できることも忘れないでください。

新しいリーダーシップのスキルを磨き、また新しいライオンズリーダーを育て上げることに決意をされた時にこそ、皆さんは継続的な発展に向けクラブの態勢を整えることになるのです。

どうぞよろしく願いいたします。

国際会長
山田實紘

リーダーシップを強化しよう！

奉仕を通して導く

優れた研修こそが、優れたリーダーを育てるカギです。以下は、皆さんやクラブ会員の新

皆さんのようなクラブリーダーのおかげで、ライオンズは奉仕におけるグローバルリーダーでいられるのです。1月10～16日の「飢餓と

たな指導技能習得に役立つ幾つかの方法です。

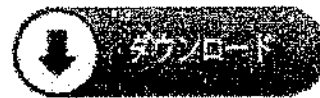
- GLTを頼りにする - グローバル指導力育成チームがどのようにして皆さんのリーダーシップとクラブを次のレベルに引き上げる手助けをすることができるか学んでください。
- オンライン学習コースを利用する - 向上させたいスキルを、自分が望む時に、クラブ役員研修モジュールとライオンズ学習センターのコースを受講して磨いてください。

ライオンズクラブ国際協会とGLTは皆さんと皆さんのクラブを支援するために存在します。ですから、研修の機会を必ず利用してリーダーシップを強化してください！

クラブ会長賞は、「成功への7つの鍵」を通してリーダーシップのスキルを高めるとともに、ライオンズクラブ国際協会を用意されている資料や情報を活用してクラブの可能性を最大限引き出す上で役立てていただくことを目的に設けられました。今すぐクラブ会長賞を申請しましょう！

「貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」に向け奉仕事業を企画することにより、奉仕を通して導いていただけます。これはお住まいの地域を強化しクラブの存在をアピールするだけでなく、1億人の支援をするというライオンズの100周年記念の目標達成にも役立つ絶好のチャンスです。

「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」のページには、100周年奉仕チャレンジの一環であるこの特別イベントのための企画ガイドや事業案が掲載されていますので、ご覧ください。クラブ向けのチラシをダウンロードしてメンバーに配布し、今すぐ奉仕事業の立案に取り掛かりましょう！



クラブのリーダーに宛てた私の12月のメッセージを、皆様にもお送りいたします。

このメッセージでは今年度前半におけるクラブリーダーの尽力に対し感謝を述べていますが、これに加え、皆様お一人おひとりが各クラブの強化と100周年記念成功のため行ってくださったことすべてに対しても、御礼申し上げます。また各クラブには、年末年始にかけ、地域での食料支援と貧困対策に取り組むよう呼びかけております。

ご家族やご友人と良い年末年始をお過ごしください。

山田 實紘



ライオン各位

年末は、1年を振り返り、祝い、また感謝する特別な時ですが、皆さんとその仲間のライオンズ以上に感謝をされるに値する人はいないでしょう。

皆さんのおかげで、地域はより良い場所になりました。ライオンズは奉仕を通じて地域を導き、私たちが誰より必要としている人たちの人生に確かなインパクトを与えています。皆さんの奉仕への決意と100周年記念奉仕チャレンジへの支援により、ライオンズは世界で6千万人以上の人に奉仕しました。

皆さんのおかげで、クラブもより良いものになりました。ライオンズは、地域における奉仕のインパクトをより大きいものとする新会員を招き入れています。世界各地のライオンズとクラブは、クラブと地域を強化して、100周年記念会員増強賞の期間限定の表彰を受けています。引き続き、ライオンズとしてともに奉仕する新会員を勧誘していただければ幸いです。

来年も素晴らしい一年になると期待できるのもまた、皆さんのおかげです。私たちは引き続き、招き、奉仕し、2017年の100周年祭を祝います。年末年始を迎えるに当たり、ライオンズクラブ国際協会を代表して皆さんのご多幸をお祈り申し上げます。

国際会長
山田 實紘

ホリデーに尊厳を

ホリデーシーズンは、お祝いと喜びの時です。しかし、食べる物にも事欠く人々にとっては、ことに辛い時期でもあります。この年末年始、是非皆さんのクラブで、その日の食事でもまならない子供や家族、お年寄りを助ける奉仕事業に取り組んでくださいますようお願いいたします。

奉仕の未来を形作る

皆さんには、ライオンズ奉仕の次世紀における優先奉仕分野を決める特別なチャンスがあります。自分と地域にとって重要な奉仕が何であるかを尋ねるアンケートが、1月にライオンズクラブ国際協会より世界の全会員に送られます。

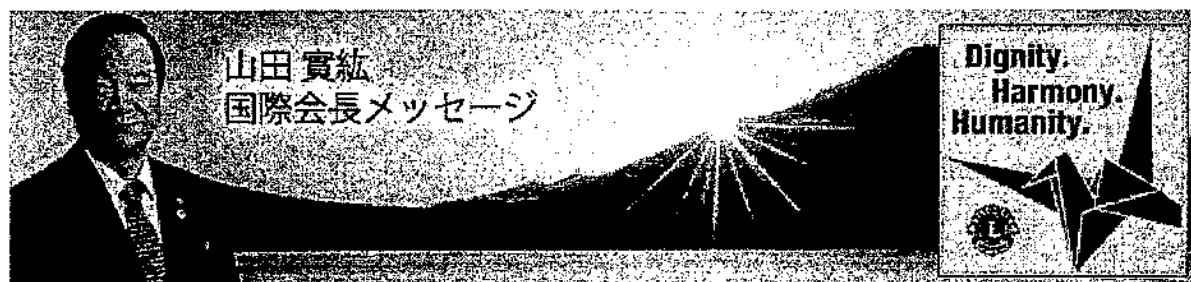
また、世界のライオンズとともに1月10～16日の「飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィーク」にもご参加ください。地域にある貧困の問題に取り組み、MyLCIアクティビティ報告から奉仕活動を報告して100周年の特別表彰を受ける絶好のチャンスです。

この重要なアンケートのEメールが1月に届くことをクラブのメンバーに伝え、必ず回答するようにご奨励ください。皆さんを始めとするメンバー全員に、ライオンズと世界における奉仕の未来を自ら形作っていただきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

クラブのリーダーに宛てた私の1月のメッセージを、皆様にもお送りいたします。

今月のメッセージでは、旧年中のクラブリーダー各位のご活躍に感謝申し上げるとともに、「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」についてご案内しています。クラブには、それぞれのレガシー・プロジェクトの計画を始めるよう呼びかけ、また100周年記念クラブ企画ガイドをダウンロードして100周年計画を立案するようお勧めしています。皆様の国際会長を務めさせていただいていることを光栄に存じます。2016年を記憶に残る年にいたしましょう！

山田 實紘



ライオン各位

1世紀近くにわたり、ライオンズは自分たちが暮らし働く地域をより良い場所にするべく励んできました。こうした奉仕の遺産は国境を超え、ライオンズを一つにし、世界中の地域に影響を与えています。100周年は、「奉仕を通して導く」、「新会員を招請してインパクトを高める」、そして「地域社会とつながる」ことによって、あなたのクラブの遺産を築き上げるチャンスです。

そして「地域社会とつながる」ための絶好の手段が、ライオンズ創立100周年記念期間に「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」を実施することです。レガシー・プロジェクトは、クラブがしてきた奉仕による貢献を遺産として末永く残す、地域社会への贈り物です。100周年の記念期間、そしてその先も、コミュニティにクラブの存在感を示し続けるしるしとなるでしょう。

今すぐ、クラブのレガシー・プロジェクトを計画し始めることをお勧めします。新年も、皆様と引き続き協力し、奉仕の遺産を築き上げて100周年記念で大きな成功をおさめることを楽しみにしております。

国際会長
山田 實紘

レガシー・プロジェクトの企画

100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを企画して、地域社会とつながり、奉仕の遺産(レガシー)を末永く残しませんか。レガシー・プロジェクトは、100周年を記念し、地域社会の具体的なニーズに応答する、目に見える贈り物です。

100周年記念期間中にレガシー・プロジェクトを一つ完了することが、すべてのクラブに奨励されています。参加レベルは三つあるので、あなたのクラブに合ったレベルが必ず見つかるはずです。「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」ウェブサイトの詳細をご覧になり、今すぐプロジェクトの企画を始めましょう！

[詳細はこちら！](#)

クラブの100周年記念計画を立てる

新年は、成長と、奉仕と、成功のチャンスです。クラブ100周年記念企画ガイドで、クラブの100周年記念の成功を確かなものにしましょう。

クラブにおける、「100周年記念奉仕チャレンジ」期間中の奉仕活動、「100周年記念会員増強賞」を通じた会員勧誘、そして地域での「レガシー・プロジェクト」の実施を、それぞれ計画しましょう。今すぐ「クラブ100周年記念企画ガイド」をダウンロードし、クラブの仲間と内容をご確認ください。





ニュースワイヤー

今月号のニュースワイヤーでは「奉仕」の季節について取り上げます。1年の中でもこの特別な期間は、ライオンズにとってアイバンクの支援、食料の支援、LCIFへの寄付を通じてより一層地域社会に奉仕をする機会です。クラブが地域に奉仕する取り組み方法を紹介します。

新年に地域社会に奉仕しましょう



次の1月10日～16日にかけて 飢餓と貧困の撲滅に取り組む世界奉仕ウィークに参加して、地域社会に奉仕しましょう。この特別な国際行事は、私たちの地域社会そして世界中に約8億人いる日々飢えに苦しむ人々の尊厳を守ることを目的としています。あなたの地域で飢えや貧困に苦しむ人々への支援事業を企画し、変化を起こしましょう。同時に活動を通して1億人に奉仕するという私たちの100周年記念の目標達成にもご協力いただけます。詳細については「世界奉仕ウィーク」のウェブページをご覧ください。事業の計画を今すぐ始めましょう。

視力保護活動に取り組みましょう！角膜移植のドナー推進事業

ライオンズ・アイバンク週間(12月6日～12日)は、ライオンズが角膜移植のドナー登録の重要性の推進活動を通して視力保護に取り組む最高の機会です。理解と意識の向上により角膜の提供数は増えており、アイバンクが視力回復をサポートできる男性・女性・子供たちの人数は毎年増加しています。お近くにあるアイバンクに問い合わせ、奉仕活動の機会を見つけてください。詳細については、「ライオンズ・アイバンク週間」のページをご覧ください。

世界糖尿病デーにライオンズも「Go Blue」に参加しよう



world diabetes day
14 November

11月14日は世界糖尿病デーです。クラブにとって糖尿病との闘いをサポートができる機会です。クラブのメンバー・家族・友人を集め、みんなで青色の衣服を着て人間の環を作りましょう。青色は糖尿病の国際的なシンボル・カラーです。糖尿病スクリーニングや糖尿病の Strides イベントの実施、または近くの糖尿病キャンプや学校で「Go Blue」プロジェクトを検討しましょう。または、町のモニュメントを青色でライトアップしましょう。奉仕事業のその他の行事例については、糖尿病教育及び活動に向けた25の事業案をご覧ください。あなたの地域で教育の実施や資料の配布を行い、健康な暮らしを目指しましょう。取り組み内容に関係なく、あなたの奉仕活動を MyLCI でご報告ください。また 写真をお送りください。

米国2015年ボランティア組織保護法をサポートしよう

ライオンズクラブ国際協会は、米国で、ライオンズクラブの保護、ボランティア精神の強化、非営利団体の財務健全化など重要な施策について率先して取り組んできたことを誇りに思っています。この法案は、支援が必要な人々をサポートするボランティア・グループや組織を対象に賠償責任からの保護が適用される、1997年ボランティア組織保護法の改正案です。詳細については、[LCIの法案支持についてのページ](#)をご覧ください。2015年度の国際大会でスペシャル・オリンピックスのティム・シュライバー氏が法案の支持を表明したときの新しいビデオもあります。

ビデオ:ライオンズが地域の人々に安全な水を提供



このビデオはライオンズ四季報のアーカイブに収められたもので、世界的な水の危機へのライオンズの取り組みが紹介されています。ライオンズの支援及びライオンズクラブ国際財団からの資金援助により、子供たちはきれいな水で手や顔を洗うことができ、女性は安全な水を汲みに行く時間が減りました。また、家族で野菜を栽培して市場で販売することができるようになりました。安全な水が利用できると、健康状態の向上だけでなく、経済的機会の促進及び生活レベルの改善にもつながります。いますぐ視聴して、ソーシャル・メディアで共有しましょう。またこうした事業をサポートするために、この奉仕期間にLCIFへの寄付をご検討ください。

ライオンズ四季報(LQ)



LQでは、ベルギーのライオンズが使命として50年以上にわたる知的障害者の人々への支援活動にどのように取り組んできたかを視聴いただけます。

行事

食料支援をしよう

12月/1月の100周年記念奉仕チャレンジに参加しましょう。

行事予定表

ライオンズの今後の行事で、所属クラブが地元で参加できる行事をご確認ください。

ハイライト

ライオンズ・ブログ

最新のライオンズ奉仕プログラムや世界各地で活躍するライオンズの特集記事をご覧ください。

デジタル版ライオン誌

ライオン誌(国際本部版)は、オンラインでご覧になれます。このデジタル版には追加コンテンツ、ビデオ、リンクがあります。

コンテスト

レオ・ビデオ・コンテスト

青少年に声を上げる機会「#RaiseYourVoice(声を上げよう)」を与えて、レオ・ビデオ・コンテストに参加しましょう。

国際作文コンテスト

目の不自由な子供たちと、平和への思いの共有を目指します。



ニュースワイヤー

ライオンズ・リソース・スポットライト特別号では、所属クラブを成功に導くための策定、2016年度国際大会のライオンズ特別割引の享受、世界奉仕ウィーク・アクティビティの促進などに必要なツールをご紹介します。ダウンロード可能な関係資料の詳細については、lionsclubs.orgをご覧ください。

LCICon早期登録締め切りは1月8日です



2016年6月24～28日に日本の福岡で主催される 第99回国際大会で世界各国から訪れるライオンズと喜びを分かち合い、親睦を深めるための計画を立ててください。1月8日までに登録すれば、5日間の参加登録をわずか130米ドルの最安料金で行えると共に、ホテルもライオンズ特別割引で予約できます。福岡でライオンズの仲間と集うチャンスです。どうぞご参加ください。今すぐご登録を！

クラブ会長 - 皆さんのライオンズクラブを成功に導く扉を開きます！

新年を迎えるたびに、心を新たにしてリーダーシップ・スキルを磨き、クラブの改善に重点的に取り組む新たなエネルギーを生み出す機会を得ることができます。山田国際会長は、成功への七つの鍵を使用して、クラブの成功と地域社会奉仕の拡大への扉を開くよう呼び掛けています。ライオンズクラブには、成功への七つの鍵を活用してクラブを運営することで、会員及び地域社会に対する奉仕のあり方を前向きに改革することをお勧めします。皆さんのリーダーシップを讃える賞も用意されています。クラブ会長賞申請書に記入して地区ガバナーに転送するだけです。

1月15日平和ポスター・コンテスト・キットの販売開始



2016-17年度平和ポスター・コンテストのテーマは、「平和、万歳！」です。お住まいの地域で平和ポスター・コンテストを主催し、芸術を通して平和を祝うことを地元 の青少年(年齢11～13歳)に呼び掛けてください。クラブ・コンテストを企画・推進するための関係資料は、平和ポスター・コンテスト・キットに入っています。このキットは1月15日より、東京都品川区西五反田のライオンズクラブ国際協会日本事務所(Eメール: lcijapan@amber.plala.or.jp, FAX: 03-3494-

2933、TEL: 03-3494-2931)でご購入いただけます。平和ポスター・コンテストの詳細、過去の受賞ポスター、平和ポスター・コンテスト・ビデオの鑑賞などについては、国際協会ウェブサイトをご覧ください。

新しいレオクラブ・プログラム研修及びオリエンテーション



レオクラブのスポンサーやレオとの緊密な協力についてレオクラブ顧問研修及びオリエンテーションは、ライオンズ会員がレオクラブ・プログラム及び顧問の役割について理解を深めるためのものです。この研修は6つのパワーポイントの単元で構成されており、レオクラブ顧問が自信を持って効果的に任務を遂行するために役立つ重要なツールや資料を紹介します。この6つの単元はすべて、ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトからダウンロードできます。

新たな地区選挙手続き:2016年7月1日改定

国際理事会は、地区選挙手続きを改善する必要性に鑑み、組織全体による選挙規則及び手続きの義務化(2016年7月1日発効)を実施することにしました。上記の改定に応じた構成及び付則の見直しや修正は各地区が担当します。注釈付き標準版地区会則及び付則(法律部の資料・情報ページで入手可能)をご確認ください。選挙関連セミナーは、エリア・フォーラムで開催します。また、オンライン [地区情報センター](#) を使用したeラーニングの学習機会もあります。

ライオンズ四季報(LQ)



LQで、ライオンズが世界最大の社会奉仕クラブ組織に成長した過程をご覧ください。

ハイライト

ライオンズ・ブログ

最新のライオンズ奉仕プログラムや世界各地で活躍するライオンズの特集記事をご覧ください。

デジタル版ライオン誌

ライオン誌(国際本部版)は、オンラインでご覧になれます。このデジタル版には追加コンテンツ、ビデオ、リンクがあります。

コンテスト

平和ポスター・コンテスト

2016-17年度のテーマは「平和、万歳！」です。

行事

[世界奉仕ウィーク\(2016年1月10~16日\)](#)
クラブのプロジェクトを推進するためのリソースを検索します。

[国連ライオンズ・デー\(2016年3月12日\)](#)
国連指導者たちと会って、取り組むべき人道上の課題を討議します。

[LCICon福岡\(2016年6月24~28日\)](#)
今すぐご登録を!

行事予定表

所属クラブが地元で参加できる、ライオンズの今後の行事をご確認ください。

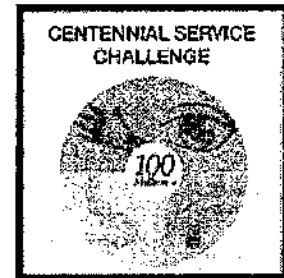


100周年 コーディネーター ニュースレター



100周年記念奉仕チャレンジ

私たちは各クラブに100周年記念期間中奉仕を通じて導くようお願いしています。青少年、視力、飢餓、環境の分野で少なくとも1つの100周年記念奉仕チャレンジ事業を主催するよう、ご担当のクラブに呼びかけてください。ライオンズはこれまでに5,000万人への奉仕を行っていますが、少なくとも1億人の人々に奉仕するという目標の道半ばです。MyLCI奉仕活動報告を通じて活動を報告することで100周年記念バナーパッチを獲得できることを、クラブにあらためてお知らせください。



1月に、ライオンズクラブ国際協会 は MyLCI に 100 周年記念ダッシュボードを設置します。これにより、各クラブや地区の奉仕活動への参加状況を確認し、クラブの進捗を追跡することができます。詳細については、まもなくお知らせいたします。

100周年記念会員増強賞

私たちは各クラブに100周年記念期間中新会員を招請してインパクトを高めるようお願いしています。クラブに少なくとも3名の新規会員を加え、限定版の100周年記念会員増強賞を受賞できるように、ライオンズを支援してください。グローバル会員増強チーム(GMT)を支援して会員増強に協力することもできますので、GMTと連携して成果を上げてください。



会員を強化し、2018年6月の100周年記念期間終了までにライオンズクラブ国際協会の規模が過去最大となるように力を合わせましょう。

100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト

地域社会との絆を強化する100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを計画していただくよう、ライオンズの皆さまにお願いしています。レガシー・プロジェクトとは、創立100周年を記念して行われる、ライオンズから地域社会への目に見える贈り物であるとともに、奉仕におけるライオンズの貢献を永続的に残すものです。1月より、世界中のすべてのライオンズクラブに対し、2018年6月30日までにレガシー・プロジェクトを完了するようこの呼びかけが開始されます。レガシー・プロジェクトを計画して、永続的な遺産を地域に残すようにクラブを支援してください。



レガシー・プロジェクトに関する詳細は、1月のライオンズへの発表前に皆さまにお知らせいたします。

100周年記念関連の研修

皆さまのニーズを支援するために、100周年記念コーディネーター向けの特別研修を実施します。

- MD 100周年記念コーディネーター研修は、DGE を対象としたGMT/GLT エリア研修の後、1月・2月に実施予定です。
- MD 100周年記念コーディネーター研修には、責任・管理運営任務・報告実務、主な100周年記念プログラムおよびイニシアチブ、Lions100 で利用可能な情報や資源についての説明が含まれます。研修では職務の成功に欠かせない重要なリーダーシップスキルの向上、また、担当地域の地区100周年記念コーディネーターへの研修進行に当たるMD 100周年記念コーディネーターの準備も行います。

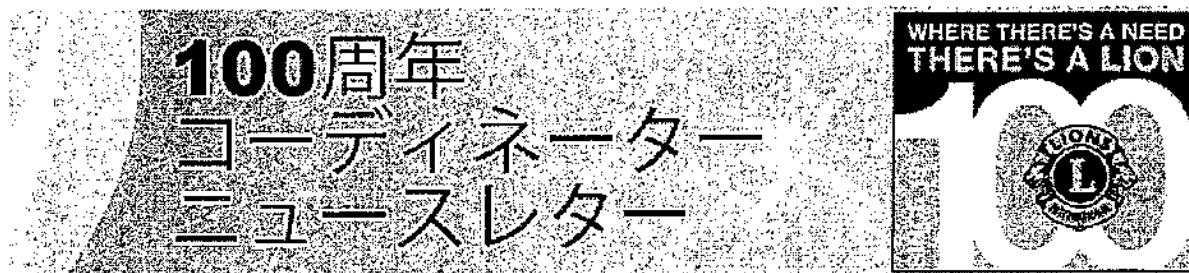
詳細は12月にお知らせいたします。

コーディネーター Facebook グループへご参加ください

100周年記念コーディネーター Facebook グループには、すでに100名を超える会員が参加し、参加者は増え続けています。アイデアやストーリーを共有したり、他の100周年記念コーディネーターと交流できるグループに参加してください。今すぐ参加して、興味がありそうな他の100周年記念コーディネーターも誘ってください。

Lions100.org

Lions100.org ウェブサイトは、100周年記念関連の最適な情報源です。皆さまやクラブに新しい情報を提供できるように、100周年記念ツールボックスの内容をさらに充実させています。100周年記念の新しいツールの追加など、更新をたびたびチェックしてください。



100周年レガシー・プロジェクトを一足先にご紹介

私たちは各クラブに、「100周年記念奉仕チャレンジ」に参加することで「奉仕を通して導く」ようお願いします。また、「100周年記念会員増強賞」を通じて「新会員を招請してインパクトを高める」ことを呼びかけました。

今度は、世界中のライオンズに、2018年6月30日までに「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」を完了することで「地域社会とつながる」よう呼びかける番です。そこで、今月一般ライオンズにお知らせするのに先駆け、皆さんに一足先に「レガシー・プロジェクト」のウェブページをご紹介します。100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトページで詳細をご確認の上、いつまでも残る遺産を地域に残す「レガシー・プロジェクト」の企画を各クラブにご奨励ください！

クラブ100周年記念企画ガイド

100周年記念の成功のカギは、計画にあります。新登場の「クラブ100周年記念企画ガイド」は、クラブの記念行事の企画や100周年目標の達成に役立つ参考資料です。間もなくこの「企画ガイド」について私どもからも各クラブにお知らせしますが、確実に活用してもらうためには皆さんの助けが必要です。今すぐクラブ100周年記念企画ガイドに目を通した上で、100周年記念の成功を目指せるよう各クラブにもお伝えください。

ライオンズ・タッチストーン・ストーリー

ライオンズの皆さんには、「ライオンズ・タッチストーン・ストーリー」を通じてライオンズの歴史を体験していただくようご案内する予定です。各ストーリーではライオンズの歴史上の重要な出来事が紹介されており、100年の奉仕活動の足跡と与えたインパクトについて知ることができます。

また、クラブや地区の会報、ウェブサイト、Facebookなどの執筆を担当するライオンには、100周年記念期間中つねにタッチストーン・ストーリーを使い、一般向けにライオンズの歴史を発信してもらいたいと考えています。Lion100.orgで今すぐタッチストーン・ストーリーを読んでみてください！

100周年記念ダッシュボード

100周年記念ダッシュボードがあれば、地区や複合地区のレポートにリアルタイムでアクセスすることができ、100周年記念に関するエリア内の活動を素早く効率的に把握することができます。100周年記念ダッシュボードは、MyLCIのレポート一覧から見るすることができます。順調なクラブ・地区と、支援が必要なクラブ・地区を確認するのに最適です。

その他の100周年記念関連情報

- 100周年研修- 1月～2月に、複合地区/単一地区100周年記念コーディネーターを対象とした研修ワークショップが、GLTエリアリーダーによって実施されます。ご自分のエリアのワークショップに関する詳細は、会則地域レベルのGLTリーダーにお問い合わせください。
- コーディネーターピン - 100周年記念コーディネーター・ピンが、研修ワークショップにて配られます。複合地区コーディネーターは、自分の担当エリアの地区100周年記念コーディネーターに配るピンも受け取ります。
- 100周年ツールボックス - 一段と充実したLions100.orgの100周年ツールボックスをまだご覧になっていない方は、今すぐチェックしてください！
- コーディネーターのFacebookグループにご参加を- 100周年コーディネーターのFacebookグループに参加し、仲間のコーディネーターたちとアイデアやエピソードを共有してつながりましょう！



Lions Clubs International
FOUNDATION

私たちの財団

ライオンズ各位

お住いの地域に関わらず、皆さまは欧州の難民問題についてご存じだと思います。数十万人が故郷を追われて欧州に流入しています。わずかな所持品を手に主に徒歩で、シリア、コンボ、アフガニスタンなどの国々から避難して来ているのです。彼らは家族と安全に暮らすことができる新たな故郷を求めています。難民の多くは食料や水、医薬品が不十分な難民キャンプに押し込まれています。



ライオンズクラブ国際財団(LCIF)とライオンズはこの状況を見過ごすわけにはいきません。LCIFは、難民受け入れ国で難民のニーズに対応するライオンズへの支援として20万ドルの拠出を承認しました。スウェーデンとトルコのライオンズは既にギリシャとトルコ国境付近の難民への救援物資配給に懸命に取り組んでいます。地区118-Eのライオンズは難民支援のための交付金を活用し、難民の子供たちのための学校建設や2カ月間にわたる100家族への栄養・衛生ニーズへの支援を計画しています。

先日、欧州と中東のライオンズが難民支援に向けて現状やリソース、アイデアを共有する会合を行いました。努力を調整するのに役立つ運営委員会もあります。この問題の影響を受ける地域のライオンズが支援を必要とする人々を助けられるように、LCIF緊急援助交付金への寄付をご検討ください。

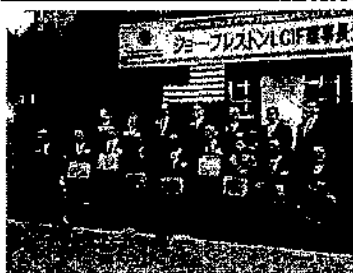
皆さまの地区または複合地区で難民支援をお考えの場合は、試験プログラムを利用した地域救援事業への交付金要請方法をLCIFにお問い合わせください。

世界中の人々の生活向上に向けた皆さまのご支援に御礼申し上げます。

よろしくお願いたします。

ライオンズクラブ国際財団理事長
ジョー・プレストン

2014-2015 LCIF 高額寄付者顕彰



毎年、LCIFは財団への財政的支援が顕著なライオンズ地区およびクラブを表彰しています。このような貢献により、LCIFは地域社会や世界中で視力を保護し、災害救援を行い、青少年を支援して人道的ニーズに対応することができます。今年度の表彰者リストはオンラインでご覧いただけます。

LCIF 顕彰は、寄付総額に応じて各会則地域で上位5つの地区;会員の平均寄付額に応じて各会則地域で上位5つの地区;寄付総額に応じて各会則地域で上位5つのクラブ;すべてのクラブがLCIFに寄付を行った地区などが対象となります。ありがとうございました。

拡大を続けるライオンズクエスト



LCIFと国連薬物犯罪事務所(UNODC)は、バルカン地域でライオンズクエストを実施するために2012年から取り組みを続けています。2014年には、試験プログラムがセルビアで開始されました。今年度、このプログラムはマケドニア(FYROM)とモンテネグロに拡大されます。プログラム拡大によって150名の教師への研修が実施され、50校の2,000名を超える生徒が優れたプログラムの影響を受けることになります。セルビアでのプログラム検証の結果、ライオンズクエストは生徒の薬物・アルコール拒否や危険を認識するスキルを

向上させることができました。皆さまのクラブの地域でライオンズクエストのライフスキルを活かす方法について、lions-quest.org をご覧ください。

OSEAL(東洋東南アジア)フォーラム

第54回 OSEAL フォーラム、“Excellence through Service(奉仕を通じての美德)” が2015年12月3日～6日にかけてタイ、バンコクで開催されます。東南アジア全域のライオンズが参加できる多くのセミナーやネットワーキングイベントが実施されます。12月5日(土)、午後1時からの LCIF ゼネラル・セミナーに是非ご参加ください。



OSEAL FORUM





Lions Clubs International
FOUNDATION

私たちの財団

ライオンズ各位

年の瀬を迎え、皆さまも年末年始の準備にお忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。しかし、どんなに多忙であってもライオンズは地域への奉仕を続けます。これぞライオンズの素晴らしさです。

先日、私はキューバのライオンズの活動を視察しました。ライオンズクラブ国際財団(LCIF)の視力ファースト・プログラムが現地で成果を上げています。クリスチャン・ブラインド・ミニストリーと共に、ドイツのライオンズ、キューバの教会、LCIF が未熟児網膜症(ROP)を発症した乳児への支援を続けています。視力ファーストの優先事項は子供の失明を減らすことです。ROPの検査と治療に対応できる眼科医療専門家の数を増やすことがその表現につながります。



山田国際会長のテーマである『Dignity, Harmony and Humanity』(命の尊厳と和)を私たちは日々実現しています。私たちは人々に尊厳をもたらし、和の精神で協力し、支援を求める人々に奉仕します。

世界中のライオンズは、人々の役に立ちたいという偉大な精神と献身的な活動によって団結し、「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」を実践しています。LCIF は、地域や世界規模の奉仕活動に交付金を提供してライオンズの善意の活動を支援しています。

2015 年も残りわずかです。来年以降も人々の暮らしを向上させ続けられるように、財団への支援をご検討ください。

ともに奉仕を

ライオンズクラブ国際財団理事長
ジョー・プレストン



トラコーマとの闘いにおける進歩

トラコーマは失明をもたらす感染症です。LCIF はカーターセンターと共に 1999 年以降トラコーマの根絶に向けて取り組んできました。先日、国際トラコーマ・イニシアチブ、ファイザー製薬をはじめとする LCIF のパートナーが、トラコーマの治療薬として用いられる抗生物質 アジスロマイシンの 5 億回投与分の寄付を達成しました。これは、公衆衛生上の課題であるこの予防可能な眼病を 2020 年までに根絶するという世界的な取り組みにおける大きな成果です。元地区ガバナー、テベベ・イエマネ・ベルハン博士のリーダーシップの下、エチオピアのライオンズもトラコーマ根絶に取り組んでいます。

ISAAME フォーラム



第 43 回 ISAAME フォーラムがインド、グジャラートで 2015 年 12 月 16 日～20 日に開催されます。このフォーラムでは、インド、南アジア、アフリカ、中東地域のライオンズを対象に数々のネットワーキング・教育イベントが実施され、LCIF コーディネーターにとって役立つ情報が提供されます。

FOLACフォーラム

第45回 FOLAC フォーラムが、ウルグアイ、モンテビデオで2016年1月19日～23日に開催されます。このフォーラムでは、中南米カリブ海諸国のライオンズを対象とした交流と学習の機会が提供されます。土曜日には、山田国際会長のテーマ『Dignity, Harmony, Humanity』(命の尊厳と和)を LCIF がいかに推進するかについてのセミナーが行われます。





Lions Clubs International
FOUNDATION

私たちの財団

ライオンズ各位

1928年、ガンジーはアフマダーバードの障害児学校の礎石を置きました。この校舎は現在も使用されています。1年半前のこの学校の新校舎着工時に礎石を置かせていただいた私は、このたびのインド訪問時に、光栄にも山田国際会長の隣で新校舎竣工式に参加させていただきました。



LCIF ウィークに参加されるクラブや地区、複合地区の皆さまには、LCIF が奉仕の礎石であることを心に留めていただきたいと思います。奉仕の内容は地域によって異なります。皆さまの地域では、視力検査や海岸清掃、予防接種を行っておられるかもしれません。どのような奉仕を実践されているにせよ、LCIF は人々に希望と安らぎをもたらす皆さまを支えます。

皆さまから LCIF への寄付によって、ライオンズは世界中で高まるニーズに対応することができます。LCIF へのご支援に感謝いたします。

LCIF が礎石を置き、その上にライオンズが日々成果を築いています。

ともに奉仕を

ジョー・プレストン

ライオンズクラブ国際財団理事長

LCIF 記念行事

LCIF ウィークとは、クラブや地区が財団の活動を広報する機会となる年間行事です。地域や世界でのライオンズの活動を LCIF がどのように支えているかを知る絶好の機会です。LCIF のリソースを活用して財団やクラブについて広報し、人々の人生を変えるためのクラブや地区、財団の日々の活動に関する地域の認知度を高めてください。LCIF の歌もあります。



Lions Clubs International
FOUNDATION

災害救援の新たな選択肢



LCIF 災害援助交付金プログラムは、自然災害対策、救援、復興に取り組むライオンズとそのパートナーに資金を提供するものです。防災準備交付金は、将来の救援活動計画・準備を地域の行政当局や組織と協力実施することに関心のあるライオンズ地区に 5,000 ドル～1 万ドルを提供します。地域復興交付金は、他の組織が既に緊急ニーズに対応済である場合に、短期的な片付けや修理活動に最大 2 万ドルを提供します。



2016年1月5日
日本ライオンズ連絡事務所

* 2015-2016年度上半期結成ライオンズクラブ *

結成会 月/日 会員数	日本順位 複合順位 地区順位	クラブ名	地区名 リジョン ゾーン	事務局住所 会長・幹事・会計	例会日時 例会場所	スポンサークラブ チャーターナイト
10月20日 CM 31名	3,810 546 217	HIRAKATA SENIOR 枚方シニア (10月27日126047)	335-B R.6 Z.2	〒573-0152 大阪府枚方市藤阪中町3-20 Tel: (072) 868-2727 Fax: (072) 868-2068 原田陽造・梶河英司・岡崎 基	第3金曜日 18:30~20:30 みどりの館 みどりホール	枚方 C.N. 2016/2/2
11月10日 CM 33名 TCM 7名 (東京麻布6、東京渋谷1)	3,811 587 235	TOKYO NAMIKIDORI 東京並木通 (11月25日126293)	330-A R.2 Z.2	〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町10-14 Tel: (03) 3225-8115 Fax: (03) 3225-8155 田中圭子・飯尾雄一・田中良子	第1水曜日 14:00~16:00 クラシック サロンパール 第3水曜日 16:00~ 三笠会館	東京歌舞伎橋 C.N. 2016年2月予定
12月13日 CM 24名 TCM 3名 (館林2、館林中央1)	3,812 478 70	TATEBAYASHI TSUTSUJI 館林つつじ (12月28日126432)	333-D R.1 Z.2	〒374-0023 群馬県館林市大手町10-1 館林商工会議所会館2階 Tel: (0276) 75-0115 Fax: (0276) 72-6889 櫻井正廣・小林紀一・針谷美之	第1水曜日 第3水曜日 19:00~ レストラン ジョイハウス	館林 C.N. 2016年3月予定

注: クラブ名下段の () は、国際協会チャーター承認日・クラブ番号。2015-2016年度上半期結成は合計3クラブ。

2015-2016年度 10月分 LCIF拠出金一覧表

2015年11月11日

LCIF日本事務所

10月分(ライオンズレイト 1ドル = 120円)				2015年7月 - 2015年10月 累計					
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
330-A	5	5,000	20,200	25,200	330-A	39	39,000	67,838	106,838
330-B	30	30,000	13,641	43,641	330-B	258	258,000	101,646	359,646
330-C	9	9,000	11,917	20,917	330-C	27	27,000	20,270	47,270
MD330計	44	44,000	45,758	89,758	MD330計	324	324,000	189,754	513,754
331-A	20	20,000	11,270	31,270	331-A	77	77,000	11,270	88,270
331-B	3	3,100	2,790	5,890	331-B	21	21,100	4,575	25,675
331-C	5	5,000	3,556	8,556	331-C	17	17,000	6,756	23,756
MD331計	28	28,100	17,616	45,716	MD331計	115	115,100	22,601	137,701
332-A	6	6,000	4,100	10,100	332-A	24	24,000	19,473	43,473
332-B	3	3,000	0	3,000	332-B	12	12,000	1,000	13,000
332-C	3	3,000	1,260	4,260	332-C	44	43,800	6,635	50,435
332-D	5	5,000	2,120	7,120	332-D	124	124,000	8,260	132,260
332-E	3	3,000	3,825	6,825	332-E	20	20,000	4,645	24,645
332-F	12	12,000	0	12,000	332-F	18	18,000	580	18,580
MD332計	32	32,000	11,305	43,305	MD332計	242	241,800	40,593	282,393
333-A	1	1,000	2,660	3,660	333-A	26	26,000	6,580	32,580
333-B	16	16,000	920	16,920	333-B	41	41,000	2,600	43,600
333-C	17	17,000	5,760	22,760	333-C	111	111,000	18,474	129,474
333-D	18	18,000	3,600	21,600	333-D	53	53,000	4,420	57,420
333-E	35	35,000	8,200	43,200	333-E	56	56,000	11,060	67,060
MD333計	67	67,000	21,140	108,140	MD333計	287	287,000	43,134	330,134
334-A	110	121,230	1,860	123,090	334-A	390	571,130	3,340	574,470
334-B	8	8,700	1,400	10,100	334-B	101	104,430	7,800	112,230
334-C	18	18,400	3,594	21,994	334-C	58	58,900	7,404	66,304
334-D	45	45,000	7,850	52,850	334-D	163	163,000	27,277	190,277
334-E	29	29,000	0	29,000	334-E	64	64,000	0	64,000
MD334計	210	222,330	14,704	237,034	MD334計	716	961,460	45,821	1,007,281
335-A	3	3,000	1,260	4,260	335-A	45	45,000	4,680	49,680
335-B	177	177,000	30,039	207,039	335-B	223	223,000	55,243	278,243
335-C	13	13,100	8,960	22,060	335-C	97	97,100	36,174	133,274
335-D	15	15,000	1,152	16,152	335-D	55	55,000	2,632	57,632
MD335計	208	208,100	41,411	249,511	MD335計	420	420,100	98,729	518,829

2015-2016年度 10月分 LOIF拠出金一覧表

2015年11月11日

LCIF日本事務所

10月分(ライオンズレート 1ドル = 120円)		2015年7月 - 2015年 10月 累計							
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	22	22,000	17,870	39,870	336-A	76	76,000	27,268	103,268
336-B	2	2,000	20,758	22,758	336-B	33	33,000	40,642	73,642
336-C	18	18,000	4,140	22,140	336-C	101	101,000	35,080	136,080
336-D	26	26,000	20,094	46,094	336-D	39	38,000	25,210	63,210
MD336計	68	68,000	62,862	130,862	MD336計	249	248,000	128,200	376,200
337-A	28	28,000	9,520	37,520	337-A	132	131,935	19,259	151,194
337-B	20	20,000	4,140	24,140	337-B	37	37,000	9,535	46,535
337-C	18	18,000	6,825	24,825	337-C	56	56,000	12,292	68,292
337-D	1	1,000	0	1,000	337-D	24	24,000	4,120	28,120
337-E	1	1,000	2,140	3,140	337-E	12	12,000	4,960	16,960
MD337計	68	68,000	22,625	90,625	MD337計	261	260,935	50,166	317,101
合計	745	757,530	237,421	994,951	合計	2,674	2,658,395	618,998	3,477,393

2015-2016年度 11月分 LCIF拠出金一覽表

2015年12月11日

LCIF日本事務所

11月分(ライオンズレポート 1ドル = 121円)						2015年7月 - 2015年 11月 累計					
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	合計(\$)
330-A	27	27,000	8,440	35,440	35,440	330-A	66	66,000	76,278	142,278	142,278
330-B	22	22,000	10,528	32,528	32,528	330-B	280	280,000	112,174	392,174	392,174
330-C	2	2,000	6,508	8,508	8,508	330-C	29	29,000	27,137	56,137	56,137
MD330計	51	51,000	25,476	76,476	76,476	MD330計	375	375,000	215,589	590,589	590,589
331-A	25	25,000	10,360	35,360	35,360	331-A	102	102,000	21,630	123,630	123,630
331-B	6	6,000	8,920	14,920	14,920	331-B	27	27,100	13,495	40,595	40,595
331-C	10	10,000	8,820	18,820	18,820	331-C	27	27,000	15,576	42,576	42,576
MD331計	41	41,000	28,100	69,100	69,100	MD331計	156	156,100	50,701	206,801	206,801
332-A	9	9,000	5,518	14,518	14,518	332-A	33	33,000	24,990	57,990	57,990
332-B	14	14,000	25,780	39,780	39,780	332-B	26	26,000	26,780	52,780	52,780
332-C	4	4,000	1,351	5,351	5,351	332-C	48	47,800	7,985	55,785	55,785
332-D	1	1,000	1,060	2,060	2,060	332-D	125	125,000	9,320	134,320	134,320
332-E	7	7,000	854	7,854	7,854	332-E	27	27,000	5,499	32,499	32,499
332-F	0	0	1,050	1,050	1,050	332-F	18	18,000	1,630	19,630	19,630
MD332計	35	35,000	35,613	70,613	70,613	MD332計	277	276,800	76,204	353,004	353,004
333-A	18	19,000	15,940	34,940	34,940	333-A	44	45,000	22,520	67,520	67,520
333-B	10	10,000	5,136	15,136	15,136	333-B	51	51,000	7,736	58,736	58,736
333-C	10	10,000	4,363	14,363	14,363	333-C	121	121,000	22,787	143,787	143,787
333-D	27	27,000	14,919	41,919	41,919	333-D	80	80,000	19,339	99,339	99,339
333-E	57	57,000	7,030	64,030	64,030	333-E	113	113,000	18,090	131,090	131,090
MD333計	122	123,000	47,388	170,388	170,388	MD333計	409	410,000	90,472	500,472	500,472
334-A	283	285,220	11,220	296,440	296,440	334-A	673	684,750	13,440	698,190	698,190
334-B	12	15,140	1,780	16,920	16,920	334-B	113	119,570	9,580	129,150	129,150
334-C	43	44,600	18,530	63,130	63,130	334-C	101	103,500	25,934	129,434	129,434
334-D	21	21,000	10,000	31,000	31,000	334-D	184	184,000	37,277	221,277	221,277
334-E	29	29,000	2,000	31,000	31,000	334-E	93	93,000	2,000	95,000	95,000
MD334計	388	394,960	43,530	438,490	438,490	MD334計	1164	1184,820	88,231	1273,051	1273,051
335-A	9	9,000	2,790	11,790	11,790	335-A	54	54,000	7,470	61,470	61,470
335-B	84	84,000	21,220	105,220	105,220	335-B	307	307,000	76,463	383,463	383,463
335-C	32	32,000	13,400	45,400	45,400	335-C	129	129,100	49,574	178,674	178,674
335-D	2	2,000	2,500	4,500	4,500	335-D	57	57,000	5,132	62,132	62,132
MD335計	127	127,000	39,910	166,910	166,910	MD335計	547	547,100	138,639	685,739	685,739

2015-2016年度 11月分 LGIF拠出金一覧表

2015年12月11日

LCIF日本事務所

11月分(ライオンズレポート 1ドル = 121円)		2015年7月 - 2015年 11月 累計							
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	42	42,000	23,160	65,160	336-A	118	118,000	50,428	168,428
336-B	9	9,000	21,240	30,240	336-B	42	42,000	61,882	103,882
336-C	13	13,000	7,120	20,120	336-C	114	114,000	42,200	156,200
336-D	8	8,000	9,970	17,970	336-D	47	46,000	35,180	81,180
MD336計	72	72,000	67,490	133,490	MD336計	321	320,000	189,690	509,690
337-A	42	42,000	8,920	50,920	337-A	186	82,104	84,259	166,363
337-B	18	18,000	4,220	22,220	337-B	55	55,000	13,755	68,755
337-C	18	18,000	9,600	27,600	337-C	74	74,000	21,892	95,892
337-D	5	5,000	1,800	6,800	337-D	29	29,000	5,920	34,920
337-E	10	10,000	2,980	12,980	337-E	22	22,000	7,940	29,940
MD337計	93	93,000	27,520	120,520	MD337計	366	262,104	133,766	395,870
合計	929	936,960	309,027	1,245,987	合計	3,615	3,531,924	983,292	4,515,216

2015-2016年度 12月分 LCIF拠出金一覧表

2016年1月12日

LCIF日本事務所

12月分(ライオンズレポート 1ドル = 123円)		2015年7月 - 2015年12月 累計							
地区	MJF口数	MJF拠金(\$)	その他の拠金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF拠金(\$)	その他の拠金(\$)	合計(\$)
330-A	14	14,000	600	14,600	330-A	80	80,000	76,878	156,878
330-B	2	2,000	2,500	4,500	330-B	282	282,000	114,674	396,674
330-C	10	10,000	5,200	15,200	330-C	39	39,000	32,337	71,337
MD330計	26	26,000	8,300	34,300	MD330計	401	401,000	223,889	624,889
331-A	8	8,000	6,020	14,020	331-A	110	110,000	27,650	137,650
331-B	2	1,100	1,750	2,850	331-B	28	28,500	15,465	43,965
331-C	1	1,000	1,860	2,860	331-C	28	28,000	17,436	45,436
MD331計	11	10,100	9,630	19,730	MD331計	166	166,500	60,551	227,051
332-A	5	5,000	4,220	9,220	332-A	38	38,000	29,210	67,210
332-B	3	3,000	1,160	4,160	332-B	29	29,000	27,940	56,940
332-C	4	4,000	2,220	6,220	332-C	52	51,800	10,205	62,005
332-D	4	4,000	3,290	7,290	332-D	129	129,000	12,610	141,610
332-E	3	3,000	1,280	4,280	332-E	30	30,000	6,779	36,779
332-F	2	2,000	0	2,000	332-F	20	20,000	1,630	21,630
MD332計	21	21,000	12,170	33,170	MD332計	298	297,800	88,374	386,174
333-A	9	9,000	8,840	17,840	333-A	53	54,000	31,360	85,360
333-B	10	10,000	3,460	13,460	333-B	61	61,000	11,196	72,196
333-C	9	9,000	8,153	17,153	333-C	130	130,000	30,940	160,940
333-D	6	6,000	580	6,580	333-D	86	86,000	19,919	105,919
333-E	24	24,000	4,760	28,760	333-E	137	137,000	22,850	159,850
MD333計	58	58,000	25,793	83,793	MD333計	467	468,000	116,265	584,265
334-A	258	262,430	3,420	265,850	334-A	931	947,180	16,860	964,040
334-B	22	21,380	4,140	25,520	334-B	135	140,950	13,720	154,670
334-C	31	32,300	5,418	37,718	334-C	132	135,800	31,352	167,152
334-D	25	25,000	8,820	33,820	334-D	209	209,000	46,097	255,097
334-E	24	24,000	0	24,000	334-E	117	117,000	2,000	119,000
MD334計	360	365,110	21,798	386,908	MD334計	1,524	1,549,930	110,029	1,659,959
335-A	4	4,000	1,460	5,460	335-A	58	58,000	8,930	66,930
335-B	67	67,000	16,363	83,363	335-B	374	374,000	92,826	466,826
335-C	17	17,000	9,420	26,420	335-C	146	146,100	58,994	205,094
335-D	14	14,000	14,060	28,060	335-D	71	71,000	19,192	90,192
MD335計	102	102,000	41,303	143,303	MD335計	649	649,100	179,942	829,042

2015-2016年度 12月分 LCIF拠出金一覧表

2016年1月12日

LCIF日本事務所

12月分(ライオンズレポート 1ドル = 123円)		2015年7月 - 2015年12月 累計							
地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)	地区	MJF口数	MJF献金(\$)	その他の献金(\$)	合計(\$)
336-A	38	38,000	16,180	54,180	336-A	156	156,000	66,608	222,608
336-B	0	0	5,526	5,526	336-B	42	42,000	67,408	109,408
336-C	6	6,000	3,441	9,441	336-C	120	120,000	54,641	174,641
336-D	9	9,000	5,838	14,838	336-D	55	55,000	41,018	96,018
MD336計	53	53,000	30,985	83,985	MD336計	373	373,000	229,675	602,675
337-A	9	9,000	5,720	14,720	337-A	195	91,104	89,979	181,083
337-B	4	4,000	4,140	8,140	337-B	59	59,000	17,895	76,895
337-C	22	22,000	7,920	29,920	337-C	96	96,000	29,812	125,812
337-D	6	6,000	3,520	9,520	337-D	35	35,000	9,440	44,440
337-E	6	6,000	1,400	7,400	337-E	28	28,000	9,340	37,340
MD337計	47	47,000	22,700	69,700	MD337計	413	309,104	156,466	465,570
合計	678	682,210	172,679	854,889	合計	4,291	4,214,434	1,165,191	5,379,625

L C I F 創設50周年記念献金(後期)資料 (単位= \$)

s.shibuta

地区	2015/07/01~18/06/30				①2015~16 【12月末現在】					(達成ランク)					
	目標額				実績	増減	達成率	9			8				
	3年間	単年度	実績	増減				達成率	7	6	5	4	3		
	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	(M/F口数)	
330-A	888,486	414	296,162	138	156,878	80	-139,284	-58	53.0%						
330-B	1,650,398	1038	550,133	346	396,674	282	-153,459	-64	72.1%						
330-C	327,572	213	109,191	71	71,337	39	-37,854	-32	65.3%						
	8,710		2,903				-2,903		0.0%						
MD330	2,875,166	1452	958,389	555	624,889	401	-333,500	-154	65.2%		○				
331-A	903,735	780	301,245	260	137,650	110	-163,595	-150	45.7%						
331-B	429,651	393	143,217	131	43,965	28	-99,252	-103	30.7%						
331-C	184,203	102	61,401	34	45,436	28	-15,965	-6	74.0%						
	19,142		6,381				-6,381		0.0%						
MD331	1,536,731	0	512,244	425	227,051	166	-285,193	-259	44.3%			○			
332-A	284,976	183	94,992	61	67,210	38	-27,782	-23	70.8%						
332-B	295,886	186	98,629	62	58,940	29	-41,689	-33	57.7%						
332-C	376,023	315	125,341	105	62,005	52	-63,336	-53	49.5%						
332-D	567,834	477	189,278	159	141,610	129	-47,668	-30	74.8%						
332-E	187,652	159	62,551	53	36,779	30	-25,772	-23	58.8%						
332-F	123,150	81	41,050	27	21,630	20	-19,420	-7	52.7%						
	33,063		11,021				-11,021		0.0%						
MD332	1,868,584	0	622,862	467	386,174	298	-236,688	-169	62.0%		○				
333-A	467,006	318	155,669	106	85,360	53	-70,309	-53	54.8%						
333-B	343,764	246	114,588	82	72,196	61	-42,392	-21	63.0%						
333-C	604,030	450	201,343	150	160,940	130	-40,403	-20	79.9%						
333-D	452,014	345	150,671	115	105,919	86	-44,752	-28	70.3%						
333-E	889,530	630	296,510	210	159,850	137	-136,660	-73	53.9%						
	109,109		36,370				-36,370		0.0%						
MD333	2,865,453	0	955,151	663	584,265	467	-370,886	-196	61.2%		○				
《東》	9,145,934	1452	3,048,646	2,110	1,822,379	1,332	-1,226,267	-778	59.8%						
334-A	3,843,927	3387	1,281,309	1,129	964,040	931	-317,269	-198	75.2%						
334-B	935,076	732	311,692	244	154,670	135	-157,022	-109	49.6%						
334-C	805,275	698	268,425	232	167,152	132	-101,273	-100	62.3%						
334-D	859,036	726	286,345	242	255,097	209	-31,248	-33	89.1%						
334-E	735,476	777	245,159	259	119,000	117	-126,159	-142	48.5%						
	1,378		459				-459		0.0%						
MD334	7,180,168	3387	2,393,389	2,106	1,659,959	1,524	-733,430	-582	69.4%		○				
335-A	335,137	276	111,712	92	66,930	58	-44,782	-34	59.9%						
335-B	1,713,720	1338	571,240	446	466,826	374	-104,414	-72	81.7%						
335-C	957,777	801	319,259	287	205,094	146	-114,165	-121	64.2%						
335-D	388,404	261	129,468	87	90,192	71	-39,276	-16	69.7%						
	10,670		3,557				-3,557		0.0%						
MD335	3,405,708	1338	1,135,236	892	829,042	649	-306,194	-243	73.0%		○				
336-A	826,075	543	275,358	181	222,608	156	-52,750	-25	80.8%						
336-B	347,909	180	115,970	60	109,408	42	-6,562	-18	94.3%						
336-C	753,548	561	251,183	187	174,641	120	-76,542	-67	69.5%						
336-D	442,057	279	147,352	93	96,018	55	-51,334	-38	65.2%						
	117,704		39,235				-39,235		0.0%						
MD336	2,487,293	0	829,098	521	602,675	373	-226,423	-148	72.7%		○				
337-A	1,164,314	987	388,105	329	181,083	195	-207,022	-134	46.7%						
337-B	530,424	420	176,808	140	76,895	59	-99,913	-81	43.5%						
337-C	589,064	357	196,355	119	125,812	96	-70,543	-23	64.1%						
337-D	378,820	300	126,273	100	44,440	35	-81,833	-65	35.2%						
337-E	249,521	201	83,174	67	37,340	28	-45,834	-39	44.9%						
	68,753		22,918				-22,918		0.0%						
MD337	2,980,896	0	993,633	755	465,570	413	-528,063	-342	46.9%			○			
《西》	16,054,065	4725	5,351,356	4,274	3,557,246	2,959	-1,794,110	-1,315	66.5%						
日本	25,199,999	6177	8,400,002	6,384	5,379,625	4,291	-3,020,377	-2,093	64.0%	1	4	6	8	7	2

2015年11月25日

LCIF AC(W) 澁田繁晴

(ライオン誌日本語版) 11月号に LCIF 創設50周年記念キャンペーンの6年間プロジェクト後期目標を発表しました。そして目標達成の為に以下の項目を会員の皆様をお願い致しました。

- ①\$20 以上 (\$50・\$100) の全員献金 (クラブ会員 100%) を目指すこと。(達成時=総目標額の24%になります)
 - ②MJF(\$1000)の前期比5%アップ達成を目指す。(達成時=総目標額の76%以上となります)
 - ③バースデイ MJF のキャンペーン (周年記念事業、会員の誕生日記念、事業所の創業記念等々)
- それに新しく④欧州で一般化している「感謝の MJF」の普及 (例えばクラブの会長・功労者・地区役職会員・貢献著しい会員等々に感謝を込めて MJF 贈呈)

さて、後期1年目4か月経過の実績を検証しますと、確実にご理解され浸透した地区とこれから成果が期待される地区とに判別できるようであります。

即ち、時系列的には33%経過したことになります。しかし、期末の3ヶ月間は、例外はありますが年次大会アワードなどの関係から極端に献金減少が視られるのが毎年の歩みであります。従ってこの時点では、達成率40%以上(16地区)は順調な歩みと思われれます。332-D地区の達成率69.9%を先頭に60%台=5地区、50%台=1地区、40%台=10地区、40%未達=19地区となって居ります。

複合地区では MD335 地区の達成率 53.6%を先頭に 50%台 1 地区、45%台 3 地区、40%台 3 地区、20%台 1 地区。中でも MD335 は全 4 地区が 40%以上となって居ります。

この結果を精査してみますと、高達成地区は達成率トップの 332-D 地区の MJF124 口、これは目標 159 口の 78%に達して居り、何れも MJF が当然のことながら大きく貢献していることが解ります。

また同様に良好な達成率の地区ほど、「クラブ会員 100%」のキャンペーンが浸透し高い伸長率に結びついていると言えます。

一方、一人当たり献金額をみますと、トップの 334-A 地区の \$125 から \$9 未満の地区と大きな隔たりが浮かんで参りました。本年度の数字が次年度、最終年度に総額として影響します。どうかご理解いただき、ご支援ご協力を切にお願い致します。



複合地区

336

2016～17年度 会員増強目標ガイドライン

300

ライオンズクラブ国際協会は、100周年記念事業の一環として、2017～2018年度末までに過去最高の会員数の達成を目指しています。この目標を実現するため、私たちは100周年祭の期間を通じ、47,000人以上の友人や隣人に奉仕への参加を呼びかけていくことになります。

現在140万人いるライオンズメンバーは、1人が平均で年間50人以上に奉仕を行っています。100周年の会員目標を達成できれば、以下が実現します。

- 1年間にライオンズの奉仕を受けられる人の数が今よりさらに200万人以上増える
- 100周年記念奉仕チャレンジを通じて地域に奉仕を提供し続けることができる
- 人生を変える奉仕の200年目の門出を祝うことができる

各地区が着実に達成できる目標を立て、協会全体の会員目標達成を実現するため、複合地区には会員増強目標ガイドラインが提供されています。ただし、複合地区目標ガイドラインは、あくまでも糸口に過ぎません。どの地区にも当てはまる解決策やアプローチというものはありません。GMTリーダーは、それぞれの地域に合った地区会員増強目標を調整するべきです。

複合地区目標ガイドラインの活用方法とは？

1. 複合地区目標ガイドラインは、その複合地区の過去5カ年平均値プラス2%の数字に基づいています。
2. これが、複合地区内の各準地区が達成可能な目標を立てられているかどうかを総合的に測るための一つの目安となります。2014～2015年度は、近年で最高の会員増加を記録した年であったにもかかわらず、会員増加目標を達成した地区は少数でした。これは、一つには、多くの地区が1年間で達成するには大きすぎる目標を立てていたことが原因でした。
3. 2016～2017年度の地区ガバナー・チームとGMTのモチベーションを保つためには、地区独自の会員目標が確実に達成できるものであり、またその達成度が確認できることが重要です。
4. 目標ガイドラインは、もし過去5カ年平均を2%上回ることができたら純増数はどうなるかを把握するためのものです。

これからの数週間で、第一副地区ガバナー/DGEが会員増強の目標と行動計画を設定します。GMTコーディネーターは、この目標ガイドラインを使って、地区チームが野心的かつ実現可能な目標を立てるのを手助けすることができます。

5. 国際協会は、会員数と奉仕の新たな高みを目指すこの取組みの進捗をまとめた定期的なレポートを、2016～2017年度を通じて発表していく予定です。
6. 貴複合地区の会員増強目標ガイドラインについて質問がある場合、またこのガイドラインを地区目標にどのように反映させていいかわからない場合には、担当のGMTエリアリーダーにお問い合わせいただくか、担当GMTスタッフ・スペシャリストまでEメール (gmt@lionsclubs.org) でご連絡ください。



八複合地区MD/GLTコーディネーター会議議事録

2015年11月5日(木)13:30~16:30 於. 日本ライオンズ事務所

出席者:

国際理事 (リーダーシップ開発委員会担当) ID	佐藤 宜之
GLT 会則地域副リーダー(日本)	PID 不老 安正
GLT エリアリーダー (東日本)	PCC 牛木 護
GLT エリアリーダー (西日本)	PCC 城坂 勝喜

MD・GLT コーディネーター

MD330 PCC 佐藤精一郎	MD331 PDG 山口 富雄
MD332 PCC 宮田 謙	MD333 PDG 植村 茂敏
MD334 PDG 榎本 舜治	MD335 PDG 吉田 英行
MD336 PDG 竹下 雅雄	MD337 PDG 玉川 孝

司会進行:PCC 牛木 護 記録:PDG 植村 茂敏

1. 不老会則地域副リーダー挨拶

- ・会員増強プロジェクト・チームにより地区コーディネーターを通じ会員増強を図る。
- ・各複合にてチームを編成する。会員増強に関し、日本ライオンズでは正会員2,000名増で9月末現在122,000名となっているが、家族会員は増となっていない。家族会員は今後も継続するので各地区で推進してほしい。
- ・一方、クオリティの会員を増加しなければならないという方向性もあり、GLTの方針も出ているので佐藤国際理事から報告してもらおう。CEPファシリテーターの修了証を準備している。
- ・上位リーダーシップセミナー、FDIについて、講師派遣、場所の提供をGLTで行なう。

2. 佐藤宜之国際理事挨拶と国際理事会報告

ブタベスト理事会のGLTリーダーシップ開発委員会報告

- ・FDI(講師養成講座) 2016年2月16日~18日 於:名古屋 修了者の活動機会検討
- ・上位リーダーシップ研究会 2015年12月8日~10日バンコック 講師:牛木、城坂 受講対象者を募集当初、第2副地区ガバナーを含む案内をしていたが、参加者数を予算上の都合で35名から20名にしたこともあり途中で除外、断られた経過あり。第2副地区ガバナーを含むガバナー候補者の若手育成のため今後GLT(理事会を含む)での要検討。
- ・ウェビナー(ウェブ・セミナー) 利用したプログラム研修について効果ありとの調査報

告もあり今後各言語（英語、中国語、韓国語、日本語など）翻訳と時差調整を図り、ファシリテーターを決定し実施する方向である。

- ・ LCI5 ヵ年戦略計画が決定された。

3. 報告事項

- ・ 各 MD・GLT コーディネーター報告＝前四半期の報告と今四半期の取り組み＝
- ・ 8 複合地区の報告がコーディネーターよりあった。

4. 協議事項

- (1) ブタベスト国際理事会（2015 年 10 月 1 日～4 日）におけるリーダーシップ委員会提起の LCI5 ヵ年戦略計画報告（佐藤宣之国際理事）

① LCI の提唱する戦略的計画

LCI5 ヵ年戦略計画の戦略的目標達成のため“Center of Training Excellence”として貢献する為に一貫して専門的に設置された最も適した研修方法により開発、配信された質の高い研修プログラムを展開する。

② リーダーシップ開発プログラム

- a. ライオンズ・リーダーシップ研究会
- b. カリキュラムと資金援助プログラム
- c. オンライン・学習（リーダーシップ開発ウェビナーの利用）

ウェビナーを利用したプログラムへの参加者は 2014—2015 年度 5,992 名、前年度比 290%増、2015-2016 年度 10 月 1 日現在 2,535 名（41%増）ライオンが LCI リーダーシップ開発ウェビナーに参加している。LLC,LRC も効果的に使用されており昨年度比 27%増加している。

③ 第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクト研修プログラム

複数の研修フォーマットは公認ガバナーの多様なニーズに応えられるように適応させ、GLT の専門知識を活用し、総合的かつ相互的に作用する学習体験を提供する。

④ グローバル指導力育成チーム（GLT）

- a 評価
- b GLT の目標、期待、優先事項
- c リーダーシップ育成表彰プログラム
- d 100 周年記念コーディネーター研修
- e 地域のイニシアチブ

⑤ 日本ライオンズ GLT 方針案

- ・ 理事会方針に対応した日本語版 GLT テキストの修正を早急に作成する。
- ・ オンライン・学習のため LCI リーダーシップ開発ウェビナーを利用したプログラムへの日本ライオンズ参加者を昨年比 300%増目指す。

- (2) 日本会員増強 PT 発足により、GLT も各 MD において GMT,FWT,100 周年複合コー

ディネーターで特別会員増強チームを組織し、地区ガバナーに提案し、クラブ会長、ゾーン・チェアパーソンを召集し、会員増強、退会防止を推進する活動状況の報告、課題協議。8 複合地区の PT 推進状況を 8 複合 GLT コーディネーターより報告された。

(3) 複合地区 100 周年記念コーディネーター研修

・国際理事会リーダーシップ開発委員会より GLT エリアリーダー充てに、100 周年記念複合コーディネーター研修について、テキストを 11 月 GLT エリアリーダーあてに送るのでエリア研修の開催日時、会場、予算申請を 11 月 15 日までリーダーシップ開発部まで報告するように要請されたので、両会則地域副リーダー間で早急に決めることになり、協議の結果、2016 年 2 月下旬、東京開催で予算申請することに決定。

(4) 第 1 副地区ガバナー個別研修 (DGE 課題)、MD 研修、GMT/GLT エリア研修、地区ガバナーエレクト研修予定と課題協議。

①個別研修

DGE セミナー・グループリーダー (L.城坂エリアリーダー) の支援と指導を受けながら第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクトによって完成された 4 課題で構成。

②複合地区研修

複合地区レベル研修は、国際協会理事会リーダーシップ委員会よりカリキュラム教材を GLT コーディネーターに提供し、研修を依頼する。コーディネーターは、地元ニーズに応じたこのカリキュラムの情報を明確にし、新たな情報を補充することが奨励される。

(東日本地区 2015 年 11 月 20 日(金)13:30~17:00 東京にて)

・第 1 副地区ガバナーセミナー 於：日本ライオンズ連絡事務所

講師 GLT MD333 コーディネーター PDG L. 植村 茂敏

挨拶 GLT エリアリーダー (東) PCC L. 牛木 護

・第 2 副地区ガバナーセミナー 於：貸し会議室 (連絡事務所裏)

講師 GLT MD331 コーディネーター PDG L. 山口 富雄

GLT MD332 コーディネーター PCC L. 宮田 謙

*MD330 は日程の都合で 11 月 24 日独自で開催。

講師 GLT MD330 コーディネーター PCC L. 佐藤 精一郎

(西日本地区 2015 年 11 月 27 日(金)13:30~17:00 於：ホテル日航福岡にて)

・第 1 副地区ガバナーセミナー

講師 国際大会ホスト委員長 PID L. 不老 安正

GLT エリアリーダー (西) PCC L. 城阪 勝喜

GLT MD334 コーディネーター PDG L. 榎本 舜治

GLT MD335 コーディネーター PDG L. 吉田 英行

GLT MD336 コーディネーター PDG L. 竹下 雅雄

・第2副地区ガバナーセミナー

講師 国際理事 L. 佐藤 宜之

GLT MD337 コーディネーター PDG L. 玉川 孝

両地区とも研修内容を共通にすることにした。

13:30~17:00

・第1副地区ガバナーセミナー

① 地区ガバナーとなる準備 ② 会合の運営管理 ③ プロトコール

・第2副地区ガバナーセミナー オンライン研修テキストに

① ガバナーチーム ② GMT, GLT, FWT 役割と連携 ③ スピーチの基本

③ GMT/GLT エリア研修 2016年1月31日(日)~2月1日(月)

於: ホテル日航福岡 * 第一副地区ガバナー・地区ガバナーエレクトは、GLT・GMT エリアリーダーと協力して指導力育成・会員増強に関する SMART(具体的、測定可能、実行可能、現実的、期限付き)な目標と計画が必要で、計画の実行および目標の達成と関連した説明責任を策定する。

5. その他の今後の GLT 関係行事予定。

- ・2015年12月2日午後2時~5時オセアル・フォーラム開会前におけるエリアリーダー以上の GLT/GMT 国際役員による GMT/GLT 予備会議 (於: スイスホテルナイラートパーク Bangkok)
- ・12月3日 15:00~17:00 GMT/GLT 本会議 (22F Lotus Suite 11)
- ・12月7日 8:30~17:30 Advanced Lions Leadership Institute (講師準備会)
8日~10日 8:30~18:30 本研修
- ・2016年4月2日(土) 13:00~17:00 「日本ライオンズ次世代リーダーシップ研究会」
講師 山田實紘国際会長 於: 名古屋キャッスル・プラザホテル(予定)
36準地区より次世代を担える有望な若手2名を選出してもらい GLT 複合役員を含め参加者予定 80名程度で開催する。従来の「青年アカデミー委員会」から「次世代リーダーシップ研究会」に名称変更する。青年アカデミー委員会は、各地区において内容、方法などにバラツキと温度差があった。次世代研究会から地区ガバナーの輩出が期待されている。

7. 次回予定

日時 2016年1月21日(木)13:30~17:00 日本ライオンズ事務所

CAC 会則地域副委員長 高田順一

9月24-25日、国際協会本部の所在地、アメリカ、イリノイ州オークブルックで100周年実行委員会（CAC）が開催されました。

会議にはフランクムーア委員長、各会則地域正副委員長、執行委員会を代表して第一、第二副会長、大会、財務、奉仕事業、会員増強、PRの各委員長、本部職員ら約40名が出席いたしました。

CACは機能横断型チームとして認識され、関係する部長や職員も出席し多様な事項に協力して取り組めるよう努力しています。

会議で話し合われた各主要事業に関して報告します。

1.100周年記念奉仕事業チャレンジ（CSC）

4つの主要キャンペーンへの参加を呼び掛け、2018年6月までに1億人に奉仕を行うことが目標です。昨年度は22,925クラブが231,714件のCSC事業を行い、4千万人以上に利益をもたらしました。今年度7月-8月は昨年と比較してやや低調な数字でしたが、今後MyLCI報告が向上することで昨年以上に推移することが期待されています。

2. 100周年記念会員増強賞

今年4月からスタートしています。2018年6月まで行われ、新会員/新クラブが活動続けている期間に基づきライオンズとライオンズクラブを累進的に表彰いたします。新会員/新クラブが100周年祭を経験することで新世紀を迎えるライオンズを速しく成長させます。

3. レガシープロジェクト

今年度新たに提案された事業です。2016年-2018年度にクラブ、地区が一つのプロジェクトを実行することで、地域におけるライオンズクラブの存在を高め、その後においてもライオンズクラブが100周年を迎えたことを認識し続けられる効果を狙っています。地域の人たちを巻き込んだ形が残るアクティビティを奨励しています。

日本ではクラブの周年事業として地域と協同して行われているアクティビティに相当します。今後MyLCIにレガシープロジェクト報告を受け付ける機能を整備していきます。

CACに関心がある方は専用ウェブサイト lions100.org にアクセスしてください。

(2015年9月28日)

ライオンズクラブ国際協会創立100周年記念 - 6300万人の人々に奉仕しました

ライオンズ100
ライオンズ100

メニュー

説明 プログラム #LIONS100 ツールボックス メディア

100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト

この100周年記念祭の間に100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを計画して、皆さんのコミュニティとつながりを持ち、ライオンとしての遺産を構築してください。レガシー・プロジェクトは、国際協会100周年記念を祝い、奉仕活動による貢献という永続的な遺産を構築する、コミュニティに対する目に見える贈り物です。

皆さんのレガシー・プロジェクトは、この100周年記念祭の期間中だけでなくそれ以降も、それぞれの地域社会にとってライオンズクラブがいかに重要であるかを思い起こしてくれるものとなります。世界中のすべてのライオンズクラブは、2018年6月30日までにレガシー・プロジェクトを完了するようお勧めします。そのためには、今すぐ計画の立案を開始してください。



レガシー・プロジェクトの計画立案

参加には3つのレベルがあるため、どのクラブも参加できる絶好の機会です。以下のリストからプロジェクトを選択するか、皆さんのコミュニティの特定のニーズに対応する独自のプロジェクトを策定してください。

レベル1 - 皆さんのコミュニティの知名度を高めます

- 新しいライオンズ看板を設置する
- 記念時計や記念像を捧じる
- コミュニティベンチやバイクラックを寄付する
- 東屋のような人々が集まる場所やピクニックエリアを建設する

レベル2 - コミュニティギフトを提供する

- 公園、遊び場、子供のコーナーなどを改装する
- 地域団体に車両を寄付する
- 視覚障害者向け技術資源の資金を集める
- 交通量の多い交差点に歩道橋を設置する

レベル3 - コミュニティにアピールする

- 図書館、学校、病院などでライオンズ・ルームを主催する
- 新しい公園、遊び場、プールなどを作る
- 職業訓練センターを設置する
- 地域の病院を設置する

すべてのレガシー・プロジェクトは、プロジェクトが皆さんのライオンズクラブから寄贈されたことがわかるように、看板や盾を使って明確に示してください。

レガシー・プロジェクトの促進

レガシー・プロジェクトは、皆さんのプロジェクト、奉仕事業、さらにはクラブをコミュニティに披露する絶好の機会です。この絶好の広報活動の機会を最大限に活用できるためのいくつかのヒントを以下に紹介します。

- 記念式典 - 記念式典またはテープカット式典を主催し、地域社会や地元メディアを招待します。
- ソーシャル・メディア - ソーシャル・メディアにプロジェクトの写真を掲載したり、皆さんのレガシー・プロジェクトのサイトに写真を投稿するよう地域社会に依頼します。ハッシュタグ #Lions100を使用すれば、国際協会のフェイスブック・ページで皆さんのプロジェクト情報をシェアできます。
- 地元メディア - プレス・リリースを送信したり、地元の記者に記事の掲載を依頼したりします。

レガシー・プロジェクトの報告

レガシー・プロジェクトの報告は、必ず地域社会及び文化活動タイプで、MyLCIアクティビティ報告を使用して行います。特別なバナー・パッチを贈られるクラブは、国際協会ウェブサイト、ソーシャル・メディア、ライオン誌でのプロジェクトの紹介を選択できます。

100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト関係資料

- 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト・パンフレット
- 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトFAQ
- レガシー・プロジェクト・プレス・リリース
- 100周年記念クラブ企画ガイド

「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」 よくある質問



Q1. 「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」とは何ですか？

A1. 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトは、クラブが地域社会とつながり、目に見えていつまでも残るライオンズの遺産（レガシー）を築くことができるよう企画されたものです。三つの参加レベルがあり、どんなクラブにも参加のチャンスがあります。

Q2. コミュニティ・レガシー・プロジェクトの三つのレベルとは？

A2. レガシー・プロジェクトには、規模とインパクトによって異なる三つのレベルがあり、クラブと地域に合ったレベルを選ぶことができます。

レベル1：地域にアピール - 公園のベンチ、駐輪スタンド、新しい看板などの公共物の寄贈

レベル2：地域にプレゼント - 公園の修繕、コミュニティガーデンの構築、医療設備の提供など、より大きな社会貢献

レベル3：地域にインパクト - 病院、学校、眼科病棟、図書館等の建築など、地域に著しい影響力を及ぼす事業

すべてのレガシー・プロジェクトにおいて、その事業がライオンズクラブの寄付によるものであることを示す印や銘板を掲げなければなりません。

Q3. クラブが100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトを完了するべき期間はいつですか？

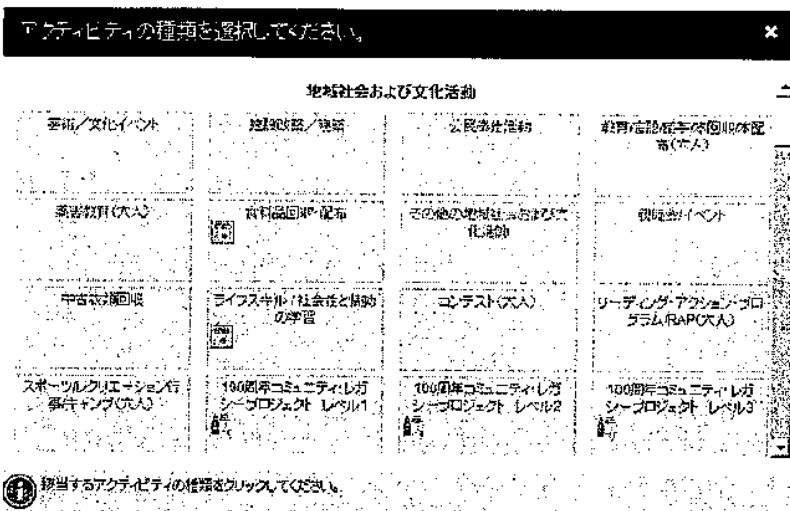
A3. 2014年7月から2018年6月までの100周年記念プログラム実施期間中ならいつでも行なえます。

Q4. レガシー・プロジェクトは、100周年記念奉仕チャレンジの対象となりますか？

A4. 100周年記念奉仕チャレンジの四つの分野（食料支援、青少年、視力、環境）いずれかに寄与するものであれば、レガシー・プロジェクトも対象となります。例えば、地域に子供たちのための公園を建築した場合、レガシー・プロジェクトと100周年記念奉仕チャレンジ事業の両方として報告することができます。

Q5. 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトはどのように報告すればよいですか？

A5. レガシー・プロジェクトは、100周年記念奉仕チャレンジと同じくMyLCIのアクティビティ報告から、「地域社会および文化活動」のカテゴリーとして報告してください。



注：アクティビティ報告では、現年度のアクティビティしか報告することができません。2015年7月1日以前に完了した事業については、2015年7月1日を実施日として報告してください。

アクティビティ基本情報

年度 2015-2016

活動日時

主要アクティビティ 探訪員

アクティビティの種類 種類を選択

アクティビティのタイトル

アクティビティの概要

アクティビティ詳細情報

この記事を公開

地区会場のアクティビティ

100周年記念コミュニティチャレンジ

2015年の地区探訪キャンペーン

地方探訪キャンペーン

会場支援キャンペーン

視察支援キャンペーン

該当なし

画像 (ファイルタイプ: jpg, gif, png 4 MBより小さいサイズ)

Browse

Browse

保存 キャンセル

Q6. 参加クラブは特別に表彰されるのですか？

A6. はい。MyLCIのアクティビティ報告を通じてレガシー・プロジェクトを報告したクラブには、事業レベルに応じて特別バナーパッチ（レベル1の事業には銅パッチ、レベル2には銀パッチ、レベル3には金パッチ）が贈られます。複数のレガシー・プロジェクトを行ったクラブは、各事業レベルにつきバナーパッチ1枚、最高3枚までのパッチを受け取ることができます。また、プロジェクトが選ばれた場合、協会ウェブサイト、ソーシャルメディア、LION誌で紹介されることもあります。

Q7. 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトに関するこの他の情報はどこで得られますか？

A7. レガシー・プロジェクトの詳細は、Lions100.org_websiteをご覧ください。

Q8. 100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトについての問い合わせ先はどこですか？

A8. 質問はLegacyProjects@lionsclubs.orgにEメールでお寄せください。

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区 第 1 回百周年記念コーディネーター会議要録

日 時 : 2015 年 12 月 11 日 (金) 15:30~16:30
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 : (敬称略)

336 複合地区ガバナー協議会議長・336-D 地区ガバナー	矢野 敏明	○
336 複合地区ガバナー協議会副議長・336-C 地区ガバナー	片岡 文彰	×
336 複合地区ガバナー協議会幹事・336-B 地区ガバナー	尾崎 博	○
336 複合地区ガバナー協議会会計・336-A 地区ガバナー	橋本 充好	×
336 複合地区百周年記念コーディネーター	井上 亮二	○
336-A 地区百周年記念コーディネーター	松前 龍宗	○
336-B 地区百周年記念コーディネーター	上原 進	×
(代理) 336-B 地区キャビネット幹事	内山 茂	○
336-C 地区百周年記念コーディネーター	福永 栄一	○
336-D 地区百周年記念コーディネーター	坂根 勝	○

次 第 :

1. 議長あいさつ

336 複合地区ガバナー協議会議長 矢野 敏明

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。百周年の関係では、記念コイン等、いろいろな案件があります。本日はよろしく願いいたします。
2. MD コーディネーターあいさつ

336 複合地区百周年記念コーディネーター 井上 亮二

各地区ガバナーにもご案内しましたがご都合がつかないようでしたので、このメンバーでの開催となりました。

よろしく願い申し上げます。
3. 議 事
 - (1) 百周年記念補助金による植樹について

井上コーディネーターより説明があった。

336 から申請している補助金は 2016 年 3 月に決定されるとのことであるが、高田会則地域副委員長に確認したところ、日本からの申請は百周年の関係であれば承認されるべくフォローするので進めるようにとの指示をいただいた。複合地区で方針を統一し、準備は各地区で進められたい。

 - ・ 補助金は 4 地区合同で 7,500 ドルを申請しているため、予算は各地区で約 22 万円 (20%の地区負担を含む) となる。
 - ・ 植樹は各地区年次大会の時期に合わせるとし、各地区で植樹候補地の選定、標柱の決定をする。
 - ・ 植樹の際には、マスコミに取材依頼をするなど、植樹の写真を撮る。
 - ・ 各地区は、植樹の年月日、経費等、概略を 2016 年 4 月中に複合地区へ報告する (写真添付)。
 - ・ 国際協会へは、最後の植樹終了後 30 日以内に複合地区から報告する。

(2) OSEAL MD 百周年記念コーディネーター会議 (2015/12/5) 報告

① 百周年記念奉仕チャレンジ

MyLCI 報告が少ない。クラブへ啓発いただきたい。

② 百周年記念会員増強賞

③ 百周年記念コミュニティ・レガシープロジェクト

クラブ、地区が周年事業等の記念アクティビティを百周年に合わせて 2016～2018 年にかけて実施いただきたい。報告フォームは未定。

④ 横断幕 (次年度各地区用)

各クラブに 1 枚ずつのバナーが福岡国際大会でガバナーエレクトに配布される。次年度中の各地区行事の際に会員がその布に署名をする。2017 年理事会時に集められ、シカゴ国際大会で展示される。

⑤ 創立 100 周年記念コイン

2016 年 3 月に 40 万枚が作成される。頒布方法は後日連絡される。コイン 1 個につき 10 ドルが LCIF に寄付される (総額 400 万ドル)。

⑥ 記念切手

各国で発行が予定されている。日本の切手詳細は未定。

(3) その他

4. 閉 会

(2015-2016 年度)

第 2 回複合地区会則委員長連絡会議要録

◎日 時: 2015 年 12 月 17 日(木) 13:20-16:00

◎場 所: 日本ライオンズ事務所(東京都・八重洲)

◎出席者:

330 複合地区会則委員長	山本 徹 秀
331 複合地区会則委員長	奥山 幸 一
332 複合地区会則委員長	堤 孝 雄
333 複合地区会則委員長	野村 洋四郎
334 複合地区会則委員長	杉浦 均
335 複合地区会則委員長	菅 春 水 (副世話人)
336 複合地区会則委員長	岡村 聖 爾 (世話人)
337 複合地区会則委員長	小田 満 美

全員着席のため定刻より早める。13:20、岡村世話人より開会。

◎議 事:

1. 前回国議要録の確認

10月9日の第1回国議要録を確認した。地区コーディネーターのキャビネット会議投票権等については、議長連絡会議が各MDにコーディネーターの現況をまとめるよう指示していることから、議長会の指示に従うことにする。

2. 秋季国際理事会決議事項要約の確認

(1) 10月1日～4日、ハンガリーのブタペストで行われた秋季国際理事会決議事項要約(国際本部ウェブサイトよりダウンロード)を基に、会則会議に関係する決議を確認した。

会則及び付則委員会

決議 5. すでに行われた標準版地区付則の改定と統一させるため、理事会方針書第7章に掲載されている標準版複合地区付則を改定。※クラブ代議員資格証明の締切り時の15日前、国際第三副会長候補者選出の2か所を確認。

決議 8. プログラムや奉仕事業への資金利用がより柔軟に行われるようにするため、国際会則にある緊急資金の規定を削除する改正案を2016年国際大会に提出する決議を採択。※ライオンズ必携P.50-51「国際会則第9条緊急積立金」の条文と、役員必携P.35の積立額を確認。

決議 9. 事務総長の任命に関する国際付則の規定の改正案を2016年国際大会に提出する決議を採択し、改正案の可決がされた場合、国際理事会方針書第18章パラグラフAとBの規定を改正することを合わせて決議。※ライオンズ必携P.59「国際付則第3条第3項運営役員」条文確認。

財務および本部運営委員会

決議 1. 赤字となる2016年第1四半期の収支見通しを承認。

決議 3. 2014年7月トロント国際理事会において承認された、財務活動停止方針を改正する財務および本部運営委員会の決議第5を撤回する。すなわち、この決定により、財務活動停止方針は直ちに改正以前のものに戻す。※役員必携P.220の滞納金を理由とする活動停止に関する方針改正を確認。2015年7月1日より、120日から90日以上に滞納猶予期間が縮小されたものが、旧に復したかたちとなり、今年度上半期中に120日以上に戻った。

会員増強委員会(ウェブサイトの要約では会員開発委員会)

決議 3. オンラインでのクラブ結成手続きを含めるように新クラブ結成手続きに関する方針の文言を改定する。

決議 4. 家族会員に関する方針の資格と報告に関する文言を改定し、住所確認、家族関係確認、そして MyLCI によるオンライン報告について含めるようにする。

決議 5. MyLCI による報告を含めたものにするため、キー賞に関する方針の文言を改定。

決議 6. 終身会員に関する方針の文言を、自動化された承認手続きを反映させたものに改定。

決議 7. 終身会員に関する方針の文言を、国際理事会による承認の必要性を削除したものに改定。

※ライオンズ必携P89、P.114 および役員必携P.194を検討。

PR委員会

決議 1. 現在の「役職の順位」を PR 委員会報告の添付紙 A のものに置き換える。※国際本部ウェブサイトには英語原文のプロトコールがアップされている。変更された箇所を確認し、意見交換した。

奉仕事業委員会

決議 4. 理事会方針書第 23 章の表題を現在の「青少年プログラム」から「レオクラブ・プログラム」に変更することにより、現在の構造を反映させることを承認。※青少年プログラムは第 1 章に移行。

決議 6. 理事会方針書第 23 章の「青少年プログラム課」及びそれを表す文言をすべて、「レオクラブ・プログラム課」に変更し、現在の構造を反映させることを承認。

(2) MD330 山本委員長から、終身会員の資格についての資料が配布され、提案あり。国際本部翻訳版(国際付則別紙)、会則会議編集のクラブ付則、国際本部指定の終身会員申請用紙の 3 種類の翻訳を検討した結果、一般会員の誤解を避けるため、ライオンズ必携改訂版は国際本部翻訳版(国際付則別紙)に表記を統一する。

3. 標準版地区会則及び付則(2016年7月1日発効)の検討

前回会議で配布した国際本部ウェブサイトの標準版地区会則・付則を持ち帰り、抵触する箇所がないかどうか確認していただいたところ、特に問題はないとの見解を得た。国際第二副会長候補者推薦手続規則は、国際第三副会長と読み替えて自動的に変更する。

4. 2016-2017 ライオンズクラブ役員必携の製作

発行人(議長連絡会議)の許可が得られたので、2016-2017 年度役員必携を製作する。役員必携に掲載する国際理事会方針は、印刷の締切り時点での、国際本部ウェブサイトの日本語版とする。締切り以降の変更箇所は国際本部ウェブサイトで確認していただく。主な編集方針は次のとおり。

- ライオンズ必携P.136 の 2014-15 議長連絡会議提案の会員種別表に掲載する。ただし賛助会員の欄は「可能な時」に一部変更する。
- ライオンズ必携P.138「出席メイク・アップ規則」の編集註を役員必携にも挿入する。
- 薬物乱用防止教育を紹介するページを新規掲載する。薬物乱用防止関係者に原稿を依頼する。
- 次回会議で表紙や見積もりなどの詳細を検討する。

5. 337-A地区からの要望

337-A地区 2R2Zの福岡舞鶴ライオンズクラブから提出された要望書コピー配布。ライオンズ必携や国際大会資料に掲載されている故村上薫会長のクラブ名について、表記の訂正が要望された。

ライオンズ必携P.334 日本から選出された国際会長 1981-1982 故 村上 薫(京都)

要望書の添付資料によれば、村上国際理事就任時は京都クラブで、理事の任期中の 1977 年 2 月に福岡舞鶴クラブに転籍し、国際会長の任期終了後の 1982 年 7 月に京都クラブへ復帰されている。

各委員長から個人的な感想や意見を出してもらった。ライオンズ必携の掲載を京都と福岡舞鶴の両クラブ名併記にする案、会長就任時のクラブ名とする案、クラブ名を変更した場合に問題はないか心配する意見などあり、会議では判断しかねるとの意見に一致した。

については、337-A地区と 335-C地区の両ガバナーで話し合っていたいただき、両ガバナーの判断により、ライオンズ必携改訂版の表記を改めることにする。

なお、国際大会資料は国際本部が作成している。歴代元国際会長の紹介は、お名前とともに出身地が掲載されるため、故村上元会長は京都になっている。

6. その他

- (1) 家族会員の会費徴収について、複合地区会費および地区会費の納入実態を報告してもらい、意見交換した。
- (2) 第5回議長連絡会議からの付託事項:2016年1月1日より、ライオン誌日本語版事務所と日本ライオンズ連絡事務所が統合し、「日本ライオンズ事務所」となる。複合地区会則第9条(ライオン誌日本語)、第10条(日本ライオンズ連絡事務所)の条文改正案については、事務所統合委員会から「たたき台」となる原稿を出していただき、次回会議で文言の検討を行うことにする。
- (3) 第3回会則会議には、議長連絡会議の近藤世話人にぜひ出席していただきたい旨要望する。

7. 次回会議

第3回会議 2016年3月4日(金) 13:00-16:00 場所:日本ライオンズ事務所

岡村会則世話人により、16:00 閉会。

以上

2015～2016 年度第 1 回 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員会要録

日 時 : 2015 年 11 月 18 日 (水) 13:30～16:00
場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長・D 地区ガバナー	矢野 敏明	○
336 複合地区ガバナー協議会幹事・B 地区ガバナー	尾崎 博	○
336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長	岡村 聖爾	○
336 複合地区運営マニュアル編集副委員長	松前 龍宗	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	山地 章靖	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	大谷 博	○
336 複合地区運営マニュアル編集委員	徳永 修	○

次 第 :

1. 議長挨拶 336 複合地区ガバナー協議会議長 矢野 敏明
運営マニュアルは皆さんに期待されていると思いますので、委員の皆様にはよろしくお願ひ申し上げます。
2. 担当ガバナー挨拶 336 複合地区ガバナー協議会幹事 尾崎 博
勉強させていただきながら委員会に参加したいと思います。よろしくお願ひいたします。
3. 委員長挨拶 336 複合地区会則・運営マニュアル編集委員長 岡村 聖爾
委員長として 3 年目になります。引き続きよろしくお願ひいたします。
4. 資料確認
 - ・ 2014-2015 年度第 4 回複合地区会則委員長連絡会議要録
 - ・ 2015-2016 年度第 1 回複合地区会則委員長連絡会議要録
 - ・ 標準版地区会則及び付則 (2015 年 6 月 25 日改訂)
 - ・ 2015-2016 ライオンズ必携第 55 版主な改訂箇所一覧
5. 議 事
 - (1) 今年度「MD336 運営マニュアル」発行に関して
 - ① MD336 運営マニュアルの取り扱いについて
第 16 版 (2015 年 4 月 14 日発行) は冊子としては印刷せず、原稿データを配信することとし、印刷は各地区キャビネットに一任した。
今年度ガバナー協議会では、冊子での販売の要望が多いことから、従来通り冊子を作成することを申し合わせている。
 - ・ MD336 運営マニュアルを改訂し、第 17 版として 2015 年 12 月を目途に発行することを第 2 回ガバナー協議会・複合地区役員連絡会議 (10/31) で確認した。
 - ・ ブタベスト国際理事会決議内容を含む次年度からの改訂事項は今回の改定には含めない。

- ・ 第 17 版は、ライオンズ必携第 55 版主な改訂箇所一覧表に基づき編集する。
- ・ 第一印刷刷に見積もりを取り、予定価格を付して各地区へ購入希望数を確認する。
- ・ 発行時にはデータのダウンロードはできないが、四半期後を目途に可能にする。

① 改訂時期および発行までのスケジュール

- ・ 12 月上旬までに
印刷会社へ見積もりを取る。
- ・ 12 月中旬に
各地区へ購入希望数を確認する。
- ・ 12 月末までに
第 17 版（案）を作成
- ・ 2016 年 1 月中旬までに
校正
- ・ 2016 年 1 月末までに
最終確認

① 改訂作業（担当）

- ・ 2015 年 11 月下旬
複合事務局より大谷委員へ、第 16 版原稿データを送付する。
- ・ 2015 年 12 月下旬
大谷委員が 16 版の見直しを行い、第 17 版（案）を作成し、岡村委員長が再度見直しを行う。
- ・ 12 月末までに
岡村委員長から返信された第 17 版（案）を各委員へ送付し、委員全員で編集内容を確認する。
- ・ 2016 年 1 月中旬までに
各委員は第 17 版（案）の校正を複合事務局へ返信する。
- ・ 2016 年 1 月末までに
委員会を開催し、原稿の確定と冊子の体裁を決定する。

(2) その他

岡村委員長より、MD336 運営マニュアル記載内容が「標準版地区会則及び付則（2015 年 6 月 25 日改訂）」に抵触していないかどうか、各自確認いただきたいとの要望があった。

(3) 次回会議について

2016 年 1 月 27 日（水）10：00～12：00 に開催予定。

6. 閉 会

第1回複合地区IT委員長連絡会議要録

◎ 日 時： 2015年12月1日（火）13:30-16:00

◎ 場 所： 日本ライオンズ連絡事務所（東京都）

◎ 出席者：

330 複合地区IT委員長	藤村 貞夫
331 複合地区IT委員長	伊藤 信賢
332 複合地区IT委員長	稲岡 敬弘
333 複合地区IT専門委員	平野 寛明（代理出席）
334-D地区ガバナー	田中 俊夫（代理出席）
335 複合地区IT専門委員	早川 弥弘（代理出席）
336 複合地区IT委員長	池田 康彦
337 複合地区IT委員長	高木 保昌

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 近藤 正彦

議 事：

会議に先立ち、第1回会議招集人である近藤議長連絡会議世話人からご挨拶があり。

1. 世話人の互選

自己紹介の後、世話人に MD330 藤村委員長、副世話人に MD331 伊藤委員長及び MD336 池田委員長が互選された。

2. ウェブサイト倫理綱領

内容を確認した。

3. 2014-2015IT年度委員長連絡会議要録

昨年度会議要録を確認した。

4. 今年度の審議課題

近藤議長連絡会議世話人のご要望により、MD330 藤村委員長から提案のあった以下審議課題検討が了承された。

(1) ServannA の今後について

山田国際会長から、ServannA に替え、会員報告など各報告を MyLCI で行い、LCI へのアクティビティ登録及び受益者数の多くの報告をすることが要望されており、委員会として報告推進を申し合わせた。

同報告には MyLCI への直接報告が必要である。ServannA からはフォーマット調整（有料）を行えば可能だが、LCI 側の了承が必要とする。日本では ServannA が報告作業の負担を軽減しており、MyLCI のみにより会員登録を行う地区は非常に少ないとの意見があり。引き続き LCI の意向を確

認し、ServannAの今後利用についてもMD内の意見集約をする提案があり。

(2) IT委員長連絡会議の今後のウェブ会議開催について

- ▶ ウェブ会議システム Go to Meeting を利用し、次回 8MD 連絡会議の開催を申し合わせた。近藤議長連絡会議世話人から、Go to Meeting はライオン誌日本語版事務所で申込契約をしているため、利用してウェブ会議開催すれば時間と交通費等の節減になり、将来的には他会議開催にも活用してもらいたいとの説明があり。IT 専門部会も連絡、会議はインターネット/メール対応とする。
- ▶ 本年度の各MD内の実施状況を確認した。無料システムも含め各MD/準地区内で目的と条件に合ったものを利用し一層の実施と普及をすることが望ましい。

(3) 青少年健全アクティビティの全国コンペティション開催への協力

近藤議長連絡会議世話人から、山田国際会長からホノルル国際大会の折、8MD議長あて、日本初のアクティビティを発信してほしいとのご要望があったとの説明があり。については標記コンペティションを開催する了承を8MDから得ており、詳細を追って各MDへ通知予定。各準地区から青少年のアクティビティを報告してもらい、来年4-6月に表彰式を行い、ウェブ中継/配信予定、各MD IT委員会に協力が求められた。

5. IT専門部会内規

同内規を確認した。

各MD内の引継ぎ状況について確認した。地区、年度等の温度差により、MD内のIT化推進を継続して行うことが難しい地区もあり。委員会に精通した委員、申し送り文書を次年度に引き継ぐなどの対応例が報告された。

6. 次回会議

以下ウェブ開催する意見に一致した。

(予定) 次回連絡会議: 2016年1月、日時は追って決定

利用ウェブ会議システム Go to Meeting

出席者: MD委員長

*MD事務局からの会議接続を基本とするが、地区やクラブからPC、iPadなどで接続も可。

以上

第2回複合地区IT委員長【ウェブ】連絡会議要録

◎ 日 時： 2016年1月18日（月）14:00-16:00

◎ 場 所： 日本ライオンズ事務所（東京都、八重洲）

◎ 出席者：

330 複合地区IT委員長	藤村 貞夫（世話人）
331 複合地区IT委員長	伊藤 信賢（副世話人）
332 複合地区IT委員長	稲岡 敬弘
333 複合地区IT委員長	鈴木 正光
334 複合地区IT委員長	木村 正明
335 複合地区IT委員長	森井 士朗
336 複合地区IT委員長	池田 康彦（副世話人）
337 複合地区IT委員長	高木 保昌

議 事：

会議に先立ち、各出席者の接続を確認した。

A. 本年度の審議課題

1. ウェブ会議システム「GoToMeeting」によるMD間接続

同システムによりMD間の接続を行い、音声、画像ともおおむね良好な接続状態を確認した。但し、以下の当日の状況を含む。

- MD333は、ヘッドホンの受音ができず、調整の結果、カメラ機能のないPCから音声のみの接続となった。
- システムの仕様により、画面表示は最大6画面で、8MD分の画像表示ができないことが残念との意見複数。

2. 今後の利用ウェブ会議システムについて

- 従来は無料または有料システムを活用、各MD内で開催は確実に増えてきている。今後連絡会議ウェブ開催に適した利用しやすく、トラブル対応の良い手ごろな価格の有料システムがあれば、検討していくことが望ましいとの意見に一致した。
- MD335内で現在利用しているChatWorkには、ウェブ会議機能の他、チャット機能、ファイル共有機能などもあり、今後もMD内で更なる活用について検討予定との説明がMD335森井委員長からあり。

3. ServannAとMyLCIについて

- 日本についてもServannA利用から、世界標準に沿いMyLCIへ各報告を行う方式に替えるLCIの強い意向が伝えられている。
- LCIから100周年記念事業に関連しMyLCIへのアクティビティ登録及び受益者数の報告が推奨されており、委員会としてMD内で更に推進する。
- 引き続き現在の各MD内準地区のServannA及びMyLCI利用状況を確認

する。LCIの決定により、MyLCIのみで各報告を行うこととなった場合も、別途 ServannA の継続利用を希望する地区を確認する。MyLCI から ServannA を切り離れた後も利用する場合、サーバー利用料（月額約 107,000 円）は応分地区負担、仮に全地区利用の場合は月額 3,000 円程度となる見込みとの説明が MD330 藤村委員長からあり。

- ▶ LCI IT 部及び IT 専門部会で今後の具体的な問題点と対応を話し合うウェブ会議を行う提案が MD330 藤村委員長からあり、一同了承。太平洋アジア課を通じて LCI IT 部に依頼予定。第 2 回専門部会ミーティングで問題点を検討する。

4. 青少年健全アクティビティの全国コンペティション開催への協力について

次回議長連絡会議での提示事項を第 3 回連絡会議で確認予定。

5. 第 1 回 IT 専門部会【ウェブ】ミーティング（2016 年 12 月 25 日開催）報告

- ▶ 世話役に MD330 佐原専門委員、副世話役に MD332 寒河江専門委員 MD337 山下専門委員が互選されたことが確認された。
- ▶ MD334 木村委員長から、IT 専門部会（副）専門委員についても IT 専門部会【ウェブ】ミーティングへ参加、情報共有すべきとの意見があり。

2. 次回会議

引き続き ServannA と MyLCI、青少年健全アクティビティの全国コンペティション関連事項の検討及び IT 専門部会からの報告事項確認

- ▶ 第 3 回 IT 委員長ウェブ連絡会議： 2016 年 2 月 22 日（月）14:00-16:00
出席者： 各 MDIT 委員長
- ・ 次回 IT 専門部会ミーティング： 2016 年 1 月 20 日（水）10:00-11:00
出席者： IT 専門部会 各 MDIT 専門委員

以上

2015-2016 年度 336 複合地区内準地区 第 2 回 IT 委員長連絡会議要録

1. 日 時 : 2016 年 1 月 19 日 (火) 14:00~15:30
 2. 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F
 3. 出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会議長 (担当ガバナー)	矢野 敏明	×
336 複合地区 PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長	池田 康彦	○
(2014-2016) 336 複合地区 IT 専門委員	池原 堅	○
(2015-2017) 336 複合地区 IT 専門委員 (2015-2016) 336-A 地区 IT 推進委員	長尾 和彦	Web システム 出席
(2015-2016) 336-A 地区 IT 特別委員会委員長	弘内 喜代志	×
(2015-2016) 336-B 地区広報委員長	滝口 広志	○
(2015-2016) 336-C 地区 PR・ライオンズ情報・IT 委員長	高橋 英晶	○
(2015-2016) 336-D 地区 PR・情報委員長	管田 亘城	○
(2015-2016) 336-D 地区キャビネット副幹事	大木 寿之	○

次 第 :

1. 委員長あいさつ 336 複合地区 PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長 池田 康彦
 第 2 回複合地区 IT 委員長連絡会議について報告 ---Web 会議
 ~新 Web 会議システム GOTOMeeting を使って Web 会議開催した。
 このシステムは日本 LC が契約していることもあり無料で利用可能
 ただ、映像・音声は最大 6 人の参加でその他は音声のみの参加
 ServannA から MyLCI へ移行する方向で検討中
2. 議 事 議事進行 池原 IT 専門委員
- (1) 複合地区 IT 委員長連絡会議報告 336 複合地区池田 IT 委員長
 ~上記報告の通り
- (2) ServannA の今後について 池田委員長より報告
 ServannA から MyLCI へ移行する方向で検討中
 ServannA 利用状況を調査し、MD 内の意見集約して行くこととなる。
- (3) 各地区現状報告 各委員長より報告
 (Web 会議・グーグルドライブ・HP 開設状況)
 A 地区⇒長尾 IT 推進委員
 ServannA がなくなっても良い様にシステム構築をしている。
 又、HP Word プレスを使って HP が制作できるよう進めている。
 このシステムは 1 月末には仮完成の予定で 7 月には切り替えが完了する予定で進めている。
 同時にキャビネット事務局の HP にリンクをはりフェイスブックも出来る様にする。

B 地区⇒滝口広報委員長

IT 推進は進んでない。

地区誌、ワードプレスを使って HP 制作を進めている。

C 地区⇒高橋 PR・ライオンズ情報・IT 委員長

Web 会議は 2、3 月地区委員会で開催予定

HP の開設状況は未開設クラブが 22 クラブあったが、開設の依頼したことで 7 クラブが開設した。引き続き開設要望を推進していきます。

今後については次期キャビネットも開設されていることから引き続き推進するようお願いしている。

D 地区⇒管田 PR・情報委員長・大本キャビネット副幹事

ServannA で年末転籍処理が出来ないことが判明したが解決した。

Web 会議についてはキャビネット会議などで利用、数回程度実施した。

地区年次大会ではネット上で登録できるようお願いしている。

HP 開設については E-クラブハウスで制作検討中とのこと。

グーグルドライブについては現状維持としている。但し、容量が 15GB で

限界がある。現在、他メーカーでも利用できるものが出てきているので継続審議とする。

(4) WEB 会議推進状況について

Web 会議システムについて複合地区 IT 委員長会で会議用システムが定まっておらず、前回はソバミーティングを推進、今回は GO TO Meeting システムを利用しているが 336 複合では現状どおりソバミーティングシステムを使用することとする。

(5) 要望事項について

各地区とも IT 推進が遅れていることから 336 複合として研究チームを立ち上げて欲しいとの要望があった。

～理由：IT の判る人材を複数年固定化し、IT の推進を行う。

各地区より IT 専門委員を選出し、各地区の IT 化を推進する。

池田委員長よりガバナー協議会で発言する予定。

次回の会議は 3 月に Web 会議にて開催の予定 日程が決まり次第連絡とする。

3. 閉会の辞 336 複合地区 PR・ライオンズ情報・IT・アラート委員長 池田 康彦

第2回複合地区YCE委員長連絡会議要録

- ◎日時： 2015年12月11日（金）13:30-16:00
◎場所： 日本ライオンズ連絡事務所（東京都中央区八重洲）
◎出席者： 330複合地区YCE委員長 河合 悦子
331複合地区YCE委員長 大澤 勝雄
332複合地区YCE委員長 長岐 正志
333複合地区YCE委員長 金井 一夫
334複合地区YCE委員長 橋本 和久（世話人）
335複合地区YCE委員長 正岡 章（副世話人）
336複合地区YCE委員長 別所 清平
337複合地区YCE委員長 濱脇 哲夫

◎議事： 会議に先立ち、世話人からご挨拶があり。

1. 冬期交換

(A) 派遣生

(1)最新派遣人数の確認

別紙1の通り確認された。

(2)追加、取消、行き先変更、遅れ出発について

前回会議以降の変更(取り消し1名)を確認した。

(3)出発前連絡事項の確認

以下の通り確認した。

- ・ 最新リーダーリスト(別紙2)を確認した。
- ・ 「取扱い幹事旅行会社及び旅行代理店業者一覧」の最新版を確認した。

(4)2015-2016年度予算案

- 別紙3 予算案を確認、一同了承した。日本ライオンズ連絡事務所及びライオン誌日本語版事務所の統合により、YCE資金の口座名義について、現行管理規程の連絡事務所長名から近藤正彦議長連絡会議世話人名へ早急に変更する必要となり、名義変更を了承した。また、今後のYCE事業の緊急時対応及び速やかな運営のため、YCE資金を継続維持することを議長連絡会議へ文書にてお願いする。なお、同規定についてYCEの現状に合わせ事業内容の記載、積立額上限等を見直す意見があり。MD337 濱脇委員長及びMD333 金井委員長が早急に改訂にあたる。
- YCE胸章用ネックピース(青、赤、黄色)については来年度から各MDでの購入を申し送る。

(5)共通経費

前回会議で申し合わせた通り、今冬期分について予算案とともに検討した。派遣生一人当たり¥1,000を、実派遣生の人数分2016年1月連絡事務所から各MD宛請求予定。

(6)冬期派遣生頒布品注文数

冬期頒布品の最終注文数一覧（別紙 4、11/25 申込締切済み、12 月初め発送済）を確認した。

(B) 来日生

(1) 最新来日人数の確認

別紙 5 の通り確認した。

(2) 最新来日情報

別紙 6 の来日生情報を確認し、口頭で以下の発表があり。

<冬期シンガポール(MD337 窓口)>

ペットの毛にアレルギーのある来日生の滞在予定先ホスト家庭(MD333)で犬 4 匹を飼っていることが分かったが、今からのホスト先変更は難しい見込み。来日生側から、室内で飼っていなければ大丈夫とのことで、ホスト家庭に再度確認する。

2. 春・夏期交換

(A) 派遣生

(1) 最新派遣情報

春・夏期派遣情報(別紙 7)を確認、以下の口頭発表があり。

<春期タイ[MD330 窓口]>:

- ・ 当初の 4 名派遣の予定から 1 名キャンセルとなり、計 3 名。別紙 7A の配分が了承された。

<夏期 MD4[MD330 窓口]>:

- ・ 別紙 7A の配分が了承された。
- ・ MD330 への配分数 9 名のうち 3 名は、現地窓口から来日生の減数があれば調整に充てる。

<夏期コロラド[MD332 窓口]>:

- ・ 別紙 7B の配分が了承された。

<夏期ヨーロッパ[MD334 窓口 (別紙 7C)]>:

- ・ 76 名の派遣人数枠について、別紙 7C の通り 38 名の配分が了承された。現時点で人数枠に 38 名の余裕があり、更なる派遣希望があれば窓口担当 MD334 へ問合せる。

<夏期オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、北米(MD19 含む)及びペルー[MD335 窓口]>:

- ・ 別紙 7D の配分が了承された。

<夏期台湾[MD336 窓口]>:

- ・ 現時点での派遣人数(別紙 7E)が確認された。
- ・ 35 名まで派遣可能、8/4-24 の派遣期間を予定している。更なる派遣のお願いが MD336 別所委員長からあり。

<夏期カンザス、ミネソタ、ウィスコンシン[MD337 窓口]>:

- ・ 別紙 7F の配分が了承された。

<夏期シンガポール[MD⁶⁴337 窓口]>:

別紙 7Fの配分が了承された。現時点で 8MD計 15 名、合計 18 名までは派遣可能、派遣希望があれば問合せる。

(2) 夏期派遣事務手続き要領

別紙 8 を確認し以下日程を決定した。現時点で余裕のある派遣枠への春・夏期追加派遣希望は、なるべく早期に問い合わせ、以下提出締切に間に合うようにする。

- ① 夏期派遣生名簿の提出締切：2015 年 12 月 24 日(木)〔連絡事務所必着〕
- ② 夏期派遣生アプリケーションフォーム締切：2016 年 1 月 22 日(金)
〔各通信担当窓口必着〕

(B) 最新来日情報

別紙 9 を確認し、口頭で委員長から以下の発表があり。

<春期タイ[MD330 窓口]>:

- ・ MD330 河合委員長から、現地窓口から最終の返答がなく、合計人数が若干増える可能性もあるとの説明があり。
- ・ 別紙 9Aの配分が確認された。MD332 長崎委員長から、別紙 9AのMD332 への配分 2 名を 0 名に変更する希望があり、了承された。
- ・ MD336 への配分を 0 名から 2 名に変更する打診があり、追ってMD336 から返答予定。

<夏期ヨーロッパ[MD334 窓口]>:

MD334 橋本委員長から以下の口頭発表があり。

<夏期 トルコ>:

現地窓口からMD330、MD333、MD334、335-B地区、MD336 に 1 名ずつ計 5 名の受け入れお願いがあり、了承された。

<夏期 イギリス>:

MD333 に 1 名の受け入れお願いが現地窓口からあり、了承された。

<夏期 セルビア>:

MD334 に 2 名の受け入れお願いが現地窓口からあり、了承された。

<夏期 ドイツ>:

現地窓口からMD330、MD333、335-B地区、MD337 に各 1 名、MD334 に 2 名、計 6 名の受け入れお願いが現地窓口からあり、了承された。

<夏期台湾[MD336 窓口]>:

別紙 9Bを確認した。MD336 別所委員長から、MD336 で 15 名程度を受け入れ予定、7MDへ 3-4 名の受け入れのお願いがあり。各MDは受け入れ人数の変更があればMD336 まで連絡する。

(C) 派遣生用頒布品について

昨年夏期の案内を参考例として確認、本年度夏期頒布品について検討した。ユニフォームは、従来より素材を薄く、背抜き仕様の見積もり[1 着 ¥13,000(税抜価格)]を確認、了承した。

従来からの頒布品も、引き続き頒布する。申込みは地区または複合単位、MD事務局がMD内地区分の申込書を〆切後に一括業者あて送信する。次回連絡会議にて最終確認の上頒布案内する予定。

3. 派遣旅行代金について

YCEの派遣旅行代金について意見交換が行われた。

MD334 橋本委員長から、窓口担当のヨーロッパについて、旅行価格は例年並みとなる見込みとのことだった。航空券の早期確保のため、名前未確定の段階でも仮予約可能なルフトハンザ航空を引き続き利用予定。30以上の現地窓口との連絡及び交渉、国内の連絡及び関連業務を円滑に進める上で、幹事旅行社の対応が不可欠となっている。MD330 河合委員長から、特にヨーロッパについては、派遣後に当初の予想以上の追加請求が来てしまうことがあり。窓口MD側での事前の見積もり精査及び追加請求部分について事前の説明を徹底すべきとの意見があり。

4. ウェブ会議開催について

ウェブ会議開催について、現時点での導入は尚早との意見が多く、当連絡会議には不向きとの意見もあり。時期を見て検討することとなった。

5. ヨーロッパフォーラムYCE委員会報告

- MD334 橋本委員長から過日 10/9-11 ドイツ、アウグスブルグで開催されたヨーロッパフォーラムでのYCE委員会への出席報告があり。19か国の窓口担当と交換について交渉した。
- ヨーロッパフォーラムの委員会で上映された「ハンディキャップのある学生を受け入れるキャンプ」ビデオについて説明があり。MD334 橋本委員長から、参加希望などがあれば窓口担当として問合せ可能とのことだった。MD337 濱脇委員長から、数年前に車いす利用の学生から派遣希望があった際に、MD337 窓口担当のシンガポールに打診したが、介助者等の要件もあり、断りの返信があり。派遣をすれば同様に自分たちの地区で受入れる可能性も生じるため、考えるきっかけとなったとのコメントがあり。

6. MD337 からのYCEキャンプアンケート結果報告

過日 10/22 各MDあて送信されたキャンプについてのアンケート(回答任意)の結果が各MD委員長あて配布され、MD337 濱脇委員長から説明があり。

7. 次回会議

次回は各MD 窓口幹事会社からの夏期派遣日程と料金説明が中心案件となるため、以下の日程に決定された。

2016年2月3日(水) 13:30-16:30

☆ 出席者: 委員長、各窓口担当旅行幹事会社

以上

2015-2016 年度 336 複合地区内準地区 第 2 回 YCE 委員長連絡会議要録

日 時 : 2015 年 12 月 16 日 (水) 14:00~16:00
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山県岡山市北区下石井二丁目 1 番 18 号
 ORIX 岡山下石井ビル 9 階
 出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会 議長	D 地区ガバナー	矢野 敏明	×
336 複合地区ガバナー協議会 副議長	C 地区ガバナー	片岡 文彰	○
336 複合地区 YCE・国際関係委員長		別所 清平	○
336-A 地区 YCE・国際関係委員長		白土 圭志	○
336-B 地区 YCE・国際関係委員長		赤野 勝俊	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員長		黒川 義之	×
336-D 地区 YCE 委員長		寺田 一男	○
336-C 地区 YCE・国際関係委員		増田 耕士	○

次 第 :

1. 担当ガバナーあいさつ 336 複合地区ガバナー協議会副議長 片岡 文彰
お忙しい中ありがとうございます。大事な会議ですのでよろしく願いいたします。
2. 委員長あいさつ 336 複合地区 YCE・国際関係委員長 別所 清平
複合地区 YCE 委員長連絡会議の報告と関連事項について協議いたします。重要な案件もありますので、よろしく願いいたします。

近畿日本ツーリスト担当者 黒田進一氏異動に伴い、後任の福島隆行氏が紹介された。

3. 協 議

- (1) 第 2 回複合地区 YCE 委員長連絡会議報告 (別紙 A)
- (2) 2015~2016 年度冬期派遣について
 - ① 派遣生名簿並びにホストファミリー名簿..... (別紙 B-1,B-2)
 - ② 派遣生スケジュール・見積..... (別紙 C-1,C-2)
 - ③ 派遣先別リーダー・サブリーダーリスト..... (別紙 D)
 - ④ 共通経費 (1 名 1,000 円:後日複合事務局より請求)
上記資料を確認した。
- (3) 2015~2016 年度冬期来日について
 - ① 来日生名簿並びにホストファミリー名簿..... (別紙 E-1,E-2)
 - ② 来日生国内移動スケジュール.....⁶⁷..... (別紙 F-1,F-2)
 - ③ 国内移動費用について

上記資料を確認した。

国内移動にかかる経費について、来日生と担当者の経費の合計金額（発着空港からホスト受渡ポイントまで）を4地区で等分に負担することを申し合わせた。

(4) 2015～2016年度夏期派遣生配分について

- ① 派遣生募集…………… (別紙 G)
- ② 各地区派遣希望一覧…………… (別紙 H)
- ③ 夏期派遣人数一覧…………… (別紙 I)
- ④ 派遣日程・見積 [昨年度参考] …… (別紙 J)

別紙のとおり各地区への人数配分を行った。

希望者該当のなかったニュージーランド派遣1名は、A地区へ配分された。条件を考慮の上、早急に派遣候補者を決定し複合事務局へ連絡することとなった。

⑤ 事務手続き

● 派遣候補者名簿 (和文・英文) : 〆切 12/21 (月)

地区キャビネットで作成し、複合事務局へ提出する。(所定の様式を利用)

- ▶ 派遣先は略号で記載 (No.は空欄) 略号は YE プログラムマニュアル P.76,77 参照
- ▶ 氏名 (ふりがな)、年齢 (出発時)、性別
- ▶ 住所 (派遣生が出発後も連絡が取れる連絡先) 下宿中の場合、名簿には実家を記載する。参考として現住所を確認しておく。
- ▶ 電話番号、ファックス、E-mail (データ受信もできるもの)
- ▶ 学校名、学年 (現在)
- ▶ スポンサークラブ名 (英文は国際本部登録の名称)

● アプリケーションフォーム (ヨーロッパ以外派遣先派遣生用)

電子アプリケーションフォーム (ヨーロッパ派遣生用) : 〆切 1/15 (金)

YE プログラムマニュアル P.54,55 を参考にパソコンで作成し、地区キャビネットを確認後、複合事務局へ提出する。

ドイツ派遣について

最新の電子フォーム (キャビネットへメール送信予定) にて作成し、提出する。

※ 電子フォーム入力後、提出前に内容を確認します。作成した **EXCEL データ** を **12月中**に複合事務局へお送りください。

※ ドイツ派遣生は、それ以外の国への派遣生と使用する様式が異なります。また、古い様式を使用しないようご注意ください。

● 添付書類 : 〆切 1/15 (金)

- ・ 健康診断書 (健康調査記入用紙)
(YE プログラムマニュアル様式 8)
- ・ 英作文 (ホストファミリー向け自己紹介/A4 で 1~3 枚)
- ・ パスポートのコピー
- ・ 顔写真 (笑顔のもの 1 枚 データの場合は jpg)
- ・ 家族写真 (1⁶枚 データの場合は jpg か PDF)

※上記資料は MD336 のホームページ (www.lions-md336.org/) にアップし

ていますので、ダウンロードして必ず所定の様式でご提出ください。
 ※派遣候補生に変更等が生じた場合は、所定の変更届を提出してください。
ㄨ切厳守での提出を確認した。

(5) 2015～2016 年度夏期来日生受入について

① 今後の予定 (例年参考)

- 受入割当決定 (日本レベル) 2～4 月初旬頃
- 受入割当決定 (MD レベル) 4 月初旬頃
- ホスト家庭名簿提出ㄨ切 5 月初旬頃
- ホストファミリーフォーム提出ㄨ切 5 月下旬頃

② 来日生配分表 (過去 2 年分参考含む) …………… (別紙 K)

春期タイ来日生 (2 名) は A、C 地区で各 1 名、夏期トルコ来日生 (1 名) は B 地区での受入となった。

春期受入は準備期間が短いため、早急にホストを募集するよう確認された。ホスト家庭名簿、ホストファミリーフォームの提出ㄨ切は 2 月中旬の予定。

夏期受入についてはさらに今後担当窓口から配分される。過去の来日生配分を参考に各地区で受入を見込んでホスト募集を準備する。

(6) 台湾との交換について

① 派遣日程について

- [派遣日程] 2016 年 8 月 4 日 (木) ～8 月 24 日 (水)
 [派遣人数] 35 名 (12/14 現在希望者 5 名 : 336 4 名、337 1 名)
 [利用空港] 台北桃園国際空港

参考 昨年度 2015 年 8 月 6 日 (木) ～8 月 26 日 (水)
 <出発>CI167 関西国際空港 12:00 発 → 高雄国際空港 14:15 着
 <帰国>CI166 高雄国際空港 7:00 発 → 関西国際空港 11:00 着
 [派遣人数] 3 名

※利用空港は、台湾側の要望による

② 来日日程及び来日人数

- [来日日程] 2016 年 7 月 15 日 (金) ～8 月 4 日 (木)
 [来日人数] 35 名

参考 昨年度 2015 年 7 月 17 日 (金) ～8 月 6 日 (木) *当初予定便
 <来日>GE602 台北桃園国際空港 8:40 発 → 関西国際空港 12:20 着
 CI166 高雄国際空港 7:00 発 → 関西国際空港 11:00 着
 <帰国>CI167 関西国際空港 12:00 発 → 高雄国際空港 14:15 着
 GE601 関西国際空港 13:20 発 → 台北桃園国際空港 14:40 着
 [来日人数] 37 名

来日生到着空港について、関西空港に限定せず羽田空港との分散も検討してはどうかとの意見があった。到着空港を増やすことで送迎担当者の増員も必要になり、空港での航空会社との交渉等が必要な場合の対応も考慮した人員が求められる。台湾側の状況を別所委員長が直接確認し、改めて検討することとなった。

③ 来日生受入配分（案）について

330	331	332	333	334	335	336	337	計
4	2	2	0	4	5	14	4	35

・MD333（日程上、受入条件であるキャンプ全日程参加ができないため）

別所委員長が MD332 での受入に理解が得られるよう直接台湾側と交渉、また、MD332 へも配慮をお願いします。

④ 派遣日程・見積について

⑤ 国内移動費用について

以下の通り決定した。

- ・派遣生 20,000 円
- ・来日生 30,000 円

(7) その他

① 来日生冬期キャンプについて

B 地区赤野委員長よりスキーキャンプ（12/23～25 岡山県 いぶきの里）について説明があった。全地区から参加。

② 来日生夏期キャンプについて

共催、単独開催等含め次回会議で各地区案を提示する。

(8) 次回会議について

2016年 2月10日(水) 14:00 ～ 16:00

(2015-2016)

第2回複合地区国際大会委員長連絡会議要録

日時: 2015年10月27日(火)14:00-17:00

場所: 日本ライオンズ連絡事務所〔東京都〕

出席者:

330 複合地区国際大会委員長	阿久津 隆文 (世話人)
331 複合地区国際大会委員長	松浦 則雄 (副世話人)
332-C地区ガバナー (代理出席)	石川 達雄
333 複合地区国際大会委員長	萩原 光義
334 複合地区国際大会委員長	中村 光宏
335 複合地区国際大会委員長	小林 登
336 複合地区国際大会委員長	福永 栄一 (副世話人)
337 複合地区国際大会委員長	麻生 好彦

国際理事(LCI国際大会委員会副委員長) 西川 義規

ガバナー協議会議長連絡会議世話人 近藤 正彦

議事:

議事に先立ち、西川国際理事及び近藤議長連絡会議世話人からご挨拶があり、山田国際会長が先の釜山国際大会の登録数44,000名を超える大会登録数45,000名を希望されているとのことで、是非とも早期登録の推進をお願いしたいとの説明があり。

阿久津国際大会委員長連絡会議世話人から、10月中旬現地見及びフォーラム組織委員会(FOC)との打ち合わせした旨の報告があり。

O S E A L

I. 第54回東洋東南アジア・フォーラム (タイ、バンコク)

【2015年12月3日(木)～6日(日)】

(1) フォーラム参加登録予定数

フォーラム組織委員会(FOC)発表の参加登録目標数2,200名のうち、1,500名強(10/14現在)を確認した。昨年の仁川フォーラム登録数(約2,000名)を目指し、委員会として推進する。

登録は、フォーラム公式ウェブサイトからオンライン予約またはフォームをダウンロードできる。トラブルが生じた場合は速やかにFOCに問い合わせる。

〔早期登録料:10月31日(土)まで、1人110米ドル〕

第54回フォーラム公式サイト: <http://www.oseal2015.org/>

(2) 最新フォーラム日程確認〔別紙1〕

上記の日程を確認した。

(3) 各行事について

開会式(12/4(金)14:00-16:00 BITECで開催)以外の主要行事は本部ホテル(センターラ・グラント)の22階/23階で開催される。

① 第2回ステアリング委員会¹

- (12月3日 14:00-15:00、本部ホテル 23階 World Ballroom)
- ② **コーカス・ミーティング**
(12月3日 21:00-22:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite 5-7)
- ③ **協議会議長と地区ガバナーの会議**
(12月4日 8:00-9:00、12月5、6日 8:30-9:30、本部ホテル 23階 World Ballroom)
- ④ **国際会長と地区ガバナーの会議**
(12月4日 9:00-10:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite1-4)
- ⑤ **国際第1副会長と第1副地区ガバナーの会議**
(12月4日 10:00-11:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite5-7)
- ⑥ **開会式** (12月4日 14:00-16:00、BITEC Hall 102-103)
開会式では、日本に配分されているステージ前右のブロック席〔別紙 2〕に着席し途中退席はステージ上からはっきりわかるので控える。
- ⑦ **オセアル・ジャパン・ナイト(招待制)& 福岡PR**
(12月4日 17:30-19:00、本部ホテル 23階 World Ballroom A & B)
- ⑧ **韓国ナイト**〔招待制、国際理事候補者紹介行事〕
(12月4日 19:00-20:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite5-7)
- ⑨ **100周年セミナー**
(12月5日 9:30-10:30、本部ホテル 22階 Lotus Suite1-4)
- ⑩ **国際会長セミナー**
(12月5日 10:30-12:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite1-4)
- ⑪ **“Shaping our Future” セミナー**
(12月5日 10:00-12:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite12)
オセアルの現国際理事(日本、韓国、シンガポール)及びLCIによる上記テーマセミナー。
- ⑫ **LCIFセミナー** (12月5日 13:00-14:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite5-7)
- ⑬ **「日本語セミナー」**
(12月5日 15:30-16:30、本部ホテル 22階 Lotus Suite5-7)
日本の現国際理事からのお話及びLCIF、GMT、GLT、FWT、百周年の各プログラムについてのセミナー。
- ⑭ **台湾ナイト**〔招待制、国際理事候補者紹介行事〕
(12月5日 17:00-18:00、本部ホテル 23階 World Ballroom B)
- ⑮ **香港ナイト**〔次回フォーラム開催地レセプション、入場自由〕
(12月5日 18:00-19:00、本部ホテル 22階 Lotus Suite5-7)
後日香港フォーラム委員会から、役職者あて(国際理事等)招待状が送付される予定。
- ⑯ **国際会長歓迎晩餐会**
(12月5日 19:00-22:00、本部ホテル 22階 Convention Center ルーム「B1」
事前申込制) 後述参照
- ⑰ **閉会式** (12月6日 10:00-12:00、本部ホテル Convention Center ルーム「B1」)

(4) **オセアル・ジャパン・ナイト & 福岡PR**—オセアル会員向け国際理事候補者紹介行事

[12月4日(金)17:30-19:00、本部ホテル 23階 World Ballroom A & B]

式次第および会場図を確認した。

阿久津国際大会世話人から設営詳細の説明があり。

① **主催**: MD330-337 議長連絡会議

② **形式**: カクテルレセプション(2部制、立食)

第1部は福岡国際大会PRタイム(約30分)、第2部はMD330-337

のジャパンナイト(招待制、約60分)2部制となる。同じ会場で続けて行うため、乾杯は行わず開会からドリンク及びフードオープンとする。

③ **会場設営および受付担当(各MDおよび海外VIP):**

国際理事候補所属MD支援委員会(MD330)

招待状作成および発送(海外招待者および国内各MD)

会場設営(タイトル看板、会場の飾付け等)、閉会後の撤収などを担当する。

④ **服装:** 次回議長連絡会議に諮る。

⑤ **会場:** センターラ・グラウンド(本部ホテル)23階 World Ballroom A & B

- ・ 受付は福岡大会PRとジャパンナイトと分けて設置、入口前左側に福岡大会受付及び配布物用テーブル2台、右側手前からVIP用受付デスク2台、8MD受付分デスク8台及びイスを並べる。受付後ろにはホテル側から許可が得られたので国際理事候補者のポスターを貼る予定。
- ・ 各MDから2名のMD受付係を出す。当日MDの名簿を持参、受付にあたる。
- ・ VIP受付デスクには設営側(MD330)から2名を配し、VIPのみ招待状と引き換えに国際理事候補者からの記念品を配布予定。議長、国際理事支援関係者は入口前にレシービングラインを作ってVIPを迎え、会場内にエスコートする予定。
- ・ ステージ前に海外VIP専用着席テーブル5卓(計50席)を設置する。
- ・ 会場内に一般参加者用立食用テーブル、壁沿いにイスを配する。

⑥ **招待者数:** 合計約500名(海外分含む)

- ・ MD330から国内及び海外分招待状を送付する予定。

(5) **国際会長歓迎晩餐会(有料行事)**

[12月5日(土)19:00-22:00、本部ホテル22階 Convention Center ルーム「B1」]

① **日本からの登録、参加券、席割り等について**

- ・ 第3回議長連絡会議にて確認された各MD参加割当案による案内案を確認、了承した。
- ・ FOCから、日本の一括予約申込分に対して、登録料が110米ドルから100米ドルに切り下げられる申し出があり、了承された。
- ・ 一括申し込み分について、FOCが定めた登録料(100米ドル)を指定口座あて円換算、一人¥12,000として申し合わせた。
- ・ 各MDから申し込み人数を連絡事務所に報告、申込み数分の登録料を11月5日(木)までに連絡事務所に振込み、連絡事務所から現地FOCへ一括申込み送金する。一括振り込みには、銀行側への説明書類が求められるため、最終人数確定後にFOC及び各MDからの送金依頼の文書を提出する見込み。
- ・ 席割はフロアプランがFOCから来次第、各MDからの参加者名簿に基づき席割予定。日本のブロック席には、国際理事、国際理事会アポイント、元国際理事、GMT、GLT、FWT会則地域副リーダー、LCIF、GMT、GLT、FWT各エリアコーディネーター/リーダー、議長、地区ガバナー、第一副地区ガ

バナーの席割りを行う。現国際役員および元国際理事について FOC 側で別途プロトコル席が設定される見込み。その他MD別にまとまって座れるよう案を作成予定。

- ・チケットは連絡事務所から各MD分を事前送付する予定。
- ・各 MD から 2 名のMD受付係を出す。当日 MD の名簿を持参、受付にあたる。

II. 第 99 回福岡国際大会【2016 年 6 月 24 日(金)–28 日(火)福岡】

(1) 暫定国際大会日程【別紙 3】

LCI発表の大会日程を確認した。

(2) 早期大会登録【別紙 4】

日本からの早期登録(地区単位でのグループ登録)手順について、10/17 付け太平洋アジア課から各MD及び各準地区あてに送信された案内メール文書を確認した。

当委員会として地区単位の早期登録を推進する。

宿泊ホテルルーム予約には、大会登録を行った後LCI担当課から付される確認番号が必要となる。

また、登録後の取り消しについては、秋期国際理事会で決定された登録 10.00 米ドル、ホテル予約 15.00 米ドルの各取り消し手数料が課されるため、注意する。

(3) 大会登録予想数

10/14 現在の大会登録予想数(27,000 名強)を確認した。ホスト委員会から第 2 回議長連絡会議でお願いされた 35,000 名の早期登録に向け、一層当委員会として推進する。

(4) LCIホテル割り当て【別紙 5】

不老福岡大会ホスト委員長からLCI発表の日本へのオフィシャルホテルルーム割当数もたらされ確認した。また、今大会参加登録予定数の各MDの%による各MDへの割り当て案が確認、了承された。各MDから部屋タイプ(シングル、ツインなど)のリクエストは早期に行うことが望ましい。配分室数が大会登録予定数に対して少なすぎるとの意見が複数あり。近年多くの大会参加登録人数を出しているMD 330、334、335、337 は約4割、それ以外のMDは約2割のホテルルームを返却しており、割当数を確実に利用するよう努めることが申し合わされた。

(5) インターナショナル・パレードについて

正式な情報はまだ発表がないが、パレードの限られた時間内では日本からの希望者が全員行進することは難しく、ホスト委員会からの要望があれば当連絡会議で検討する。

また、ユニフォームについても、今大会では全日本として統一することは難しいとの意見が多くあり。追って、情報が入り次第、検討する。

以上

2015～2016 年度 336 複合地区

青少年・ライオンズクエスト・RAP 委員長連絡会議要録

日 時 : 2015 年 11 月 30 日 (月) 13:30～16:00
 場 所 : 336 複合地区ガバナー協議会事務局
 岡山市北区下石井 2-1-18 ORIX 岡山下石井ビル 9F

出席者 :

336 複合地区ガバナー協議会	議 長 (336-D 地区ガバナー)	矢 野 敏 明	×
"	副議長 (336-C 地区ガバナー)	片 岡 文 彰	○
"	幹 事 (336-B 地区ガバナー)	尾 崎 博	○
"	会 計 (336-A 地区ガバナー)	橋 本 充 好	○
336 複合地区青少年・ライオンズクエスト・RAP 委員長		木 内 千 春	○
336-A 地区青少年・LCIF・地域奉仕委員長		東 信 喜	○
336-A 地区ライオンズクエスト運営委員長		北 川 涉	○
336-B 地区青少年健全育成委員長		谷 口 真 吾	○
336-C 地区青少年・ライオンズクエスト・LCIF 委員長		小 川 兼 幸	○
336-D 地区青少年健全育成委員長		楨 野 博 巳	○
336-C 地区キャビネット副幹事		葉 名 範 秀	○

次 第 :

1. 担当ガバナーあいさつ 336 複合地区ガバナー協議会会計 橋 本 充 好

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日は平和ポスター審査が主な内容です。よろしく願いいたします。

2. 委員長あいさつ

336 複合地区青少年・ライオンズクエスト・RAP 委員長 木 内 千 春

平和ポスター審査は毎年行いますが、委員会としては数年開催されていないと聞いております。顔合わせということでお集まりいただきました。せっかくの機会ですのでいろいろなご意見をお聞かせいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

3. 協 議

(1) 各地区現況報告 (取り組みと問題点)

《336-A》

講演会、青少年意見発表会、作文募集等これまでとは違う活動を進めている。

人口減少、高齢化となり青少年に厳しい時代へ向かっている。これまでは非行防止、薬物乱用防止中心だったが、青少年が生きていく力 (ライフスキル) を身につけることが大事であろう。LQは徐々に広がりを見せており、勉強会へは多くの教職員に参加してもらっ

ている。長年取り組んだ結果として、実績が上がっている。

《336-B》

平和ポスターコンテストについて今まで取り組みをしていないクラブにも働きかけた。前期からの早めの引継ぎが必要であると感じている。費用もかからず気軽に取り組めるアクティビティであることをPRした。エリア単位で学校にアプローチすることも効果的であると感じた。今年度は国際作文コンテストについても初めて応募があった。

《336-C》

クラブがスポーツ教室を開催する等の活動をしている。LQについてはワークショップ、セミナーを開催している。

平和ポスターの応募が大きく増加した。前年度からの引継ぎを早め、3月時点で全クラブへ募集した結果である。次年度の準備までを今年度の仕事とし、次年度のテーマが決まり次第学校へ働きかける予定である。

《336-D》

平和ポスターコンテスト、薬物乱用防止講習会に取り組んでいる。LQについては基金を設けている。学校に働きかけ校内型ワークショップを行った。

(2) 第28回ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト審査

第28回ライオンズ国際平和ポスターコンテストテーマ「平和を分かち合おう」

① 応募総数

	参加クラブ数	応募総数
336-A	100	5,258
336-B	26	1,144
336-C	54	7,074
336-D	42	1,538
計	222	15,014

② 審査結果

賞	氏名	学校・学年	地区	クラブ
最優秀賞	こやま りあ 小山 里杏	西条市立南中学校2年	336-A	西条石鎚
	平和を創り、守っていくのは私達です。世界中の人達と心から願い、協力し合う事の大切さの祈りを絵画に込めました。			
優秀賞	いたに ゆりあ 猪谷 ゆりあ	岡山市立中央中学校1年	336-B	岡山後楽
	これからも「平和にしたい」この気持ちを忘れずに、少しでも世界が平和になれるように貢献していきたいと思います。			
優秀賞	かわはら せむ 河元 馨香	広島市国泰寺中学校2年	336-C	広島紅葉
	原爆から復興した広島のように世界が平和になってほしいという願いをこめました。			

優秀賞	とみた ひびき 富田 涼希	熊野小学校	336-D	下関北
世界いろいろな国の人を通じ合えることを願っています。みんなの心がつながる 思いで描きました。				

各地区の最優秀賞 4 点について審査し、投票の結果上記のとおり 336 複合地区の最優秀賞を決定した。

最優秀賞の小山里杏さんのポスターは、複合事務局より国際本部へ送付する。

最優秀賞、優秀賞それぞれに図書カード 5,000 円分と賞状をガバナー協議会より贈呈する。

- (3) 2015-2016 年度ライオンズ国際作文コンテスト審査
2015-2016 年度ライオンズ国際作文コンテストテーマ
「Share Peace～平和を分かち合おう～」

① 審査結果

地区	氏名	学校・学年	クラブ
最優秀賞	Yuto KONDO	岡山県立岡山盲学校中等部 1 年	336-B 岡山あげは
Reducing selfishness is the way to preserve the peace			

応募作品は 336-B 地区からの 1 点のみであることを確認し、336 複合地区の最優秀賞とすることを決定した。

最優秀賞の近藤さんの作文は、複合事務局より国際本部へ送付する。

最優秀賞賞状と副賞として図書カード 5,000 円分をガバナー協議会より贈呈する。

(4) その他

LQについて

A地区では周年クラブに支援金をお願いしている。B地区でも周年の際支援金をお願いしていたが、現状資金は枯渇しており特別委員会を作り取り組むことにしている。

モデル校を作りたいが、費用を負担することが重荷になっているクラブもある。クラブの事業であるので負担への理解をお願いし、気長に働きかけたい。決められたカリキュラムがあり、すでに同じような取り組みをしているとのことで消極的な学校もある一方、学校とタイアップしLQを正規の単位と認めているところもある。委員長の引継ぎも含め、長期にわたる推進活動を行うことが必要であろう。



Lions Environmental PHOTO CONTEST

グッドスタンディングのライオンズクラブに所属する会員は、クラブの周辺環境を捕えた、自身が撮影し一切修正の加えられていない白黒もしくはカラー写真（人物が写っていない）を、2015～2016年度ライオンズ環境保全写真コンテストの下記カテゴリからテーマを一つ選んで、出品することができます。

- 動物の生態 (Animal Life)
- 景観（都会または自然） (Landscape (urban or natural))
- 植物 (Plant Life)
- 気象現象 (Weather Phenomenon)
- 特別テーマ：命の尊厳と和：いのちあるものの平和共存を賛美して (Special Theme: *Dignity, harmony, humanity: Celebrating the peaceful coexistence between species*)

独創性、芸術的価値、テーマ表現のそれぞれに重点を置いた、公正な審査が行われなければなりません。

- クラブで最も優れた写真を1点選び、地区に提出する。
- 地区で最も優れた写真を1点選び、複合地区に提出する。地区は、8インチ×10インチ (20.3 x 25.4 cm) 大に焼き付けた写真を、2016年1月15日頃を目途に複合地区に提出する。
- 複合地区で最も優れた写真を1点選び、国際レベルのコンテストに出品する。複合地区は、8インチ×10インチ (20.3 x 25.4 cm) 大に焼き付けた写真と協議会議長の署名が付された公式応募用紙 (国際協会ウェブサイトより入手可) を、2016年3月1日までにライオンズクラブ国際本部に提出する。
- ライオンズクラブ国際協会は、複合地区より出品された写真を年次国際大会で展示する。入賞作品は、大会出席者の投票によって決定される。入賞者にはアワードが授与される。入賞した6点の写真 (五つのカテゴリ別入賞作品とそこから選ばれたグランプリ受賞作品) は協会ウェブサイトに掲載される。

注：複数の応募は受け付けられません。出品できる応募写真は、一つの複合地区につき1点のみに限られます。

写真の撮影および現像処理にかかる費用はすべて、撮影者の負担となります。コンテストに出品された写真は、ライオンズクラブ国際協会の所有物となります。ライオンズクラブ国際協会は、コンテストの基準に合わない写真や、不適切または望ましくないと考えられる写真を失格扱いとする権利を有します。

コンテストに関するご質問は、programs@lionsclubs.orgまでお問い合わせください。



2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第4回会議 報告書

日 時：2015年11月6日(金)13:30～16:00

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：国際理事 西川 義規 (兵庫県・姫路白鷺ライオンズ?)
国際理事 安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ?)
国際理事 佐藤 宜之 (大分ライオンズ?)
議長連絡会議世話人 近藤 正彦 (330複合地区／東京八王子陵東ライオンズ?)
委員長 塚田 雅二 (333複合地区／千葉県・佐倉ライオンズ?)
委員 久津間康允 (330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズ?)
委員 中 嶋 辛 (331複合地区／北海道・室蘭北斗ライオンズ?)
委員 佐藤 義則 (332複合地区／宮城県・蔵王ライオンズ?)
委員 寺越 慎一 (336複合地区／広島平和ライオンズ?)
ITアドバイザー 荘 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ?)
ITアドバイザー 小柴 登司 (沖縄県・浦添ウェスト ライオンズ?) ※オンライン



塚田委員長の開会あいさつに続き、西川、安井、佐藤各国際理事のあいさつと報告、近藤世話人のあいさつがあり、その後、塚田委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2015年9月度の月次決算報告を基に、会計担当者から現況が説明された。9月はANZI/パシフィック・フォーラム及びUSA/カナダ・フォーラムの取材のため直接出版費の旅費・交通費が多くなった上、事務所移転による職員の新規通勤定期代約33万円の支出もあり、月次では約115万円、累計では453,537円の収支不足が生じていることが報告された。

2. 公式版ライオン誌編集者会議報告(別紙-編集者会議報告)

10月6、7日にドイツ・バイエルン州アウクスブルクで開催された編集者会議について、出席した佐藤委員から報告があった。会議には山田實紘国際会長ら執行役員と国際理事会PR委員会メンバー、公式版18カ国語31版中23版の編集者が出席して行われた。ライオン誌のデジタル版移行計画が進む中、会議はこの課題に対する本部からのプレゼンテーションと各国語版編集者によるディスカッションに最も多くの時間が割かれた。詳細は2016年3月の国際理事会で検討されるが、現在のところ2018年1月以降は基本的に年4回の印刷版発行とブログタイプのデジタル版の二本立てでライオン誌を制作する計画であることが示された。

3. 事務所統合委員会

必要な新規什器備品の設置が終わり、現在は就業規則など各種規定の検討が進んでいることが報告された。また、ライオン誌日本語版事務所の銀行口座をガバナー協議会議長連絡会議世話人名に改める提案があり、ライオン誌委員会としてこれを承認した。

4. 2015年11月号(10月20日見本/96,700部発行)出来

11月号本誌と増刊の出来について意見を交換した。本誌特集は「山田實紘国際会長公式訪問」、エリア・フォーラム・リポートはニュージーランドにおけるANZIパシフィック・フォーラム。増刊は「交付金事業」「被災者の声」「復興支援対策本部報告」で構成した。

5. 2015年12月号記事内容の確認

事前に送付された12月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「ブダペスト国際理事会」で、山田国際会長主宰の理事会として会長の動向を紹介するだけでなく、理事会全体の流れも含めて紹介している。「国際理事だより：安井克之国際理事」、「USAカナダ・フォーラム・リポート：中嶋辛委員」、「編集室：佐藤義則委員」。エリア・フォーラム・リポートについて、USAカナダ・フォーラム取材した中嶋委員からフォーラムの様子が報告された。また西川国際理事から、国際委員会で主催する1月の国際本部研修ツアーと3月の国連ライオンズ・デーについて、案内の掲載要請があり、表2スペースを提供することにした。

6. 2016年1月号以降台割(案)と主要記事予定

1月号以降の台割案が提出された。

1月号は特集「福岡国際大会展望」、「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「ヨーロッパ・フォーラム・リポート：佐藤義則委員」、「編集室：中嶋辛委員」。特集は、福岡国際大会ホスト委員会の中心メンバーによる座談会を企画する(担当：井村一男編集長)。

2月号は特集「バンコク・フォーラム」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。「エリア・フォーラム・リポート」はインド・グジャラート州アーメダバードで開催されるISAAMEフォーラムで、寺越委員が取材を担当する。また、同フォーラムには西川、佐藤両国際理事も出席される。

3月号は特集「追跡・東日本大震災VI」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：井村一男編集長」。「エリア・フォーラム・リポート」は南米のウルグアイで開催されるFOLACフォーラムで、寺越委員が取材を担当する。特集は、東日本大震災から丸5年となる2016年3月に合わせ、震災後に追跡取材を行った岩手県・陸前高田、宮城県・南三陸志津川、福島県・飯館の各クラブのその後を取り上げる。なお、東日本大震災をテーマとして続けてきた毎年3月号での特集は、丸5年を区切りに今回を最後とするが、東日本大震災については今後も、現在連載中の東日本大震災復興だよりなどで継続して取り上げていくこととする。

2015-16年度主要記事予定のうち、4月号以降の特集企画について検討した。薬物乱用防止やライオンズクエストなどの案が出されたが、次回委員会で改めて具体的な検討を行うこととし、各委員が再度企画案を持ち寄る。

- ライオン誌サポーター・アンケートの内容を検討した。その中で特に、改善点や提言として挙げられた意見を参考にして、今後更に読みやすい誌面作りに努めることとする。

7. ライオン誌デジタル化

前回会議前の小委員会では、現在の印刷版をベースとした電子版作成を念頭に、今後の展開を検討していくとしたが、その後、公式版編集者会議で国際本部から、デジタル版は印刷版の電子化やPDF配信ではなく、プログタイプで作成するよう要請があり、今後、それに即した形でデジタル版へ移行すべく計画の見直しを図る必要が生じた。ITアドバイザーを中心としたデジタル化小委員会にその旨説明し、使用するシステムやコンテンツについて検討していくこととする。

また、前回会議で検討に入ることを決めた、1958年の創刊以来のバックナンバー全ページ

のPDF化、及び電子版での公開について検討した。現在、凸版印刷と共同印刷に見積もりを依頼しているが、画像データで保持しているDTP導入前の雑誌だけでも500冊あり、正確な見積もりを出すためには少し時間がかかることが報告された。

8. その他

- 冬季賞与について、過去の支給実績及び現在のライオン誌日本語版事務所運営状況を基に検討した。その結果、昨年の冬季賞与と同水準で支給することとし、個別の支給額は塚田委員長が決定する。
- 残部が少なくなっているライオン誌出版物のうち、『LCIF早分かり』については、栢森新治LCIF理事の協力を得て改訂作業を進めていることが報告された。ライオンズスクール中級編の改訂は現在ペンディングとなっているが、これに関連して前回会議で提案された、332D地区製作の新会員向けDVDを取り寄せ内容を確認した。その結果、委員が所属している地区でも同様のDVDが作られていることが分かり、ライオン誌委員会での製作・配布は見送ることになった。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

12月9日(水)	15:00~17:30	第5回会議	日本ライオンズ事務所
1月12日(火)	13:30~16:00	第6回会議	日本ライオンズ事務所
2月9日(火)	13:30~16:00	第7回会議	日本ライオンズ事務所
2月10日(水)	13:00~	監査委員監査	日本ライオンズ事務所

2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第5回会議 報告書

日 時：2015年12月9日(水) 15:00～18:00

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：国際理事 安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ?)
国際理事 佐藤 宜之 (大分ライオンズ?)
議長連絡会議世話人 近藤 正彦 (330複合地区/東京八王子陵東ライオンズ?)
委員長 塚田 雅二 (333複合地区/千葉県・佐倉ライオンズ?)
委員 久津間康允 (330複合地区/神奈川県・小田原白梅ライオンズ?)
委員 中 嶋 辛 (331複合地区/北海道・室蘭北斗ライオンズ?)
委員 佐藤 義則 (332複合地区/宮城県・蔵王ライオンズ?)
委員 石井 博之 (334複合地区/三重県・津中央ライオンズ?)
委員 中村 房雄 (335複合地区/大阪府・泉大津ライオンズ?)
委員 寺越 慎一 (336複合地区/広島平和ライオンズ?)
ITアドバイザー 莊 英 隆 (東京恵比寿ライオンズ?)
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ?)
ITアドバイザー 小柴 登司 (沖縄県・浦添ウェストライオンズ?)



塚田委員長の開会あいさつに続き、安井、佐藤両国際理事のあいさつとOSEALフォーラム報告、近藤世話人のあいさつがあり、その後、塚田委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2015年10月度の月次決算報告を基に、会計担当者から現況が説明された。10月はブダペスト国際理事会取材、アウクスブルクでの公式版編集者会議及びヨーロッパ・フォーラム取材のため直接出版費の旅費・交通費が多くなった上、11月増刊号(LCIF東日本大震災交付金事業特集号)の発行と、事務所移転関連の支払いもあり、月次では約450万円、累計では4,971,178円の収支不足が生じていることが報告された。

2. 事務所統合委員会

就業規則など各種規定の整備が進み、11月30日に全職員に対する説明会が行われた。今後、前回会議で承認を受けた銀行口座名の変更を12月11日に実施すると共に、12日の統合委員会で更に規程等の詰めを行い、全職員に対して、2015年12月31日付で退職してもらい、2016年1月1日から2017年12月31日の2年間を限度とする1年更新の新しい雇用契約を提示し、合意を得た上で、日本ライオンズ事務所として再スタートする予定であることが報告された。

3. 2015年12月号(11月20日見本/97,000部発行)出来

12月号特集は「ブダペスト国際理事会」、⁸₂エリア・フォーラム・リポートはアメリカ・ミシガン州グランドラピッズにおけるUSA/カナダ・フォーラム(中嶋委員担当)だった。安井、

佐藤両国際理事から、午前中に行われた議長連絡会議においてライオン誌の誌面構成や取材体制について意見が出ていたことが紹介され、委員会として今後、対応を検討していくことを確認した。

4. 2016年1月号記事内容の確認

事前に送付された1月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「福岡国際大会展望」で、ホスト委員会による座談会で福岡大会の概要を紹介している。HEADLINEは山田實紘国際会長の各複合地区公式訪問とクラブ会長セミナーについて。「ヨーロッパ・フォーラム・レポート：佐藤義則委員」、「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：中嶋辛委員」。

5. 2016年2月号以降台割(案)と主要記事予定

2月号以降の台割案が提出された。

2月号は特集「バンコク・フォーラム」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。「エリア・フォーラム・レポート」はインド・グジャラート州アーメダバードで開催されるISAAMEフォーラムで、寺越委員が取材を担当する。また、同フォーラムには佐藤国際理事も出席される。

3月号は特集「追跡・東日本大震災Ⅵ」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：井村一男編集長」。「エリア・フォーラム・レポート」は南米のウルグアイで開催されるFOLACフォーラムで、寺越委員が取材を担当する。特集は、東日本大震災から丸5年となる2016年3月に合わせ、震災後に追跡取材を行った岩手県・陸前高田、宮城県・南三陸志津川、福島県・飯館の各クラブの代表者による座談会を企画し、被災クラブの5年間を振り返る。なお、前回会議で決定した通り、東日本大震災をテーマとして継続してきた毎年3月号での特集は、丸5年を区切りに今回を最後とし、今後、東日本大震災関連の記事は現在連載中の「東日本大震災復興だより」などで取り上げていくこととする。3月号で取材予定の金沢東LCから、記事にARマーカーとその説明を入れたいとの提案があり検討した。取材対象アクティビティの動画を中心としたものを予定しているということで、事前にコンテンツを確認させて頂くことを条件にこれを承認した。

4月号の特集企画について検討し、山田国際会長のテーマである命の尊厳を取り上げ、特に子どもの貧困に焦点を当てた企画とすることを決定した。「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：寺越慎一委員」。

2015-16年度主要記事予定のうち、5月号以降の特集企画については、次回委員会で改めて具体的な検討を行うこととし、各委員が再度企画案を持ち寄る。議長連絡会議で取材体制のうち外注費用について疑義が出ていることを受け、誌面の質や構成と費用のバランスについて、今後委員会内で検討を重ねることとする。

- ライオン誌サポーター・アンケートの内容を検討した。その中で特に、改善点や提言として挙げられた意見を参考にして、今後更に読みやすい誌面作りに努めることとする。

6. ライオン誌デジタル化

委員会に先立って開催されたデジタル化小委員会について、佐藤委員から報告があった。公式版編集者会議で示されたブログタイプのデジタル版移行計画については、紙ベースのライオン誌とは違ってページ数などスペースの制約がなくなる分、俳壇・歌壇・柳壇や写真コンテンツ、絵画のギャラリー、アクティビティ写真など、会員やクラブの投稿欄を増やすなど、さまざまなコンテンツの可能性が考えられ、委員会としてはこれを好機と捉えデジタル化を推進していくことを確認した。参考資料として、国際本部デジタル版のサンプル画像が提出

された。

また、第3回会議で検討に入ることを決めた、1958年の創刊以来のバックナンバー全ページのPDF化について凸版印刷と共同印刷から、電子版での公開についてはJPインターナショナルから見積もりを取り、実現性や求める電子化の質、予算範囲などを検討した。その結果、一連の作業を、①JPEG画像からのPDF作成（OCR付加作業込み）、②レイアウトソフト（QuarkXPress）データからのPDF書き出し、③デジタルマガジン化、④記事検索プログラムの4分野に分け、個別に対応可能な業者からも見積もりを取り、更に検討を進めることにした。2017年の国際協会100周年とライオン誌創刊60周年に向けた記念事業として考える。

7. その他

- 残部がなくなった『LCIF早分かり』について、印刷見積りを基に検討し、1月中旬発行をめどに3千部印刷することを決定した。
- 広告代理店から審査依頼があったクライアントについて掲載可否を検討した。同梱広告ということもあり、慎重に検討を重ねた上で、来月の委員会で結論を出すこととする。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

1月12日(火)	13:30~16:00	第6回会議	日本ライオンズ事務所
2月9日(火)	13:30~16:00	第7回会議	日本ライオンズ事務所
2月10日(水)	14:00~	監査委員監査	日本ライオンズ事務所

2015-16年度ライオン誌日本語版委員会 第6回会議 報告書

日 時：2016年1月12日(火)13:30～16:00

場 所：日本ライオンズ事務所

出席者：国際理事 安井 克之 (北海道・旭川東ライオンズ?)
国際理事 佐藤 宜之 (大分ライオンズ?)
議長連絡会議世話人 近藤 正彦 (330複合地区/東京八王子陵東ライオンズ?)
委員長 塚田 雅二 (333複合地区/千葉県・佐倉ライオンズ?)
委員 久津間康允 (330複合地区/神奈川県・小田原白梅ライオンズ?)
委員 中 嶋 辛 (331複合地区/北海道・室蘭北斗ライオンズ?)
委員 佐藤 義則 (332複合地区/宮城県・蔵王ライオンズ?)
委員 石井 博之 (334複合地区/三重県・津中央ライオンズ?)
委員 中村 房雄 (335複合地区/大阪府・泉大津ライオンズ?)
委員 寺越 慎一 (336複合地区/広島平和ライオンズ?)
ITアドバイザー 辰巳 博昭 (兵庫県・神戸須磨ライオンズ?)
ITアドバイザー 小柴 登司 (沖縄県・浦添ウエストライオンズ?)



塚田委員長の開会あいさつに続き、安井、佐藤両国際理事のあいさつと国際関係報告、近藤世話人のあいさつがあり、その後、塚田委員長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版事務所の運営(別紙-月次決算報告)

事前に送付された2015年11月度の月次決算報告を基に、会計担当者から現況が説明された。11月はブダペスト国際理事会取材、アウクスブルクでの公式版編集者会議及びUSA/カナダ・フォーラム取材などのカード決済分があり直接出版費の旅費・交通費が多くなったが、円安の影響もあり、月次では約55万円の収支差額が生じ、累計では4,420,030円の収支不足となっていることが報告された。塚田委員長からカード決済の状況について確認があり、1月10日決済分で法人カードによる支払は全て完了したことが報告された。

2. 事務所統合委員会

近藤世話人から、2015年12月31日付で日本ライオンズ連絡事務所及びライオン誌日本語版事務所の全職員にいったん退職してもらい、2016年1月1日から日本ライオンズ事務所の職員として新たな雇用契約を結んだことが報告された。その後、前回の統合委員会において提案された「出張旅費規程(案)」について検討した。本案には入っていない、「委員の海外出張に伴う傷害保険」「取材を依頼した会員の旅費」「外部スタッフが取材で出張する際の旅費」の3点の取り扱いについて話し合い、前の2点については追加を、後の1点については原稿料の見直しも含めて案をまとめる意見が出された。これに対し佐藤国際理事から、総則に「この規則は、複合地区ガバナー協議会議長連絡会議⁸⁵、または各種連絡会議に出席する委員、お

よび会合に出席または出張する職員に支給する旅費に関する事項を定める」と定義されており、ライオン誌委員会の業務としての取材活動に関わるものは、付則あるいはライオン誌日本語版委員会の内規として設けるべきではないかとの意見があった。久津間委員からもそれに賛同する意見があり、佐藤委員を中心にライオン誌委員会としての要望事項をまとめ、次回統合委員会にライオン誌案を提案し、検討して頂くこととする。

3. 2016年1月号(12月20日見本/97,100部発行)出来

12月号特集は「福岡国際大会展望」で、ホスト委員会による座談会を実施し、福岡大会の概要を紹介した。エリア・フォーラム・リポートはドイツ・アウクスブルクにおけるヨーロッパ・フォーラム（佐藤委員担当）だった。

4. 2016年2月号記事内容の確認

事前に送付された2月号校正を基に、記事の内容を検討した。特集は「バンコク・フォーラム」、「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。「エリア・フォーラム・リポート」はインド・グジャラート州アーメダバードで開催されたISAAMEフォーラムで、寺越委員が取材した。

この号には、国際協会指定記事として福岡国際大会における代議員資格証明用紙を入れているが、その説明（ライオンズ・ニュース・カセット）とページが離れているため、寺越委員からページの差し替えが提案され、3ページ分を入れ替えることになった。また、本部から日本語訳が到着していない国際会長メッセージについて、その取り扱いを検討した。英語版は配信されていることから、「ライオン誌日本語版で翻訳した」旨の注釈を入れた上で、日本語に訳した原稿を掲載することとする。

5. 2016年3月号以降台割(案)と主要記事予定

3月号以降の台割案が提出された。

3月号は特集「追跡・東日本大震災VI」、「国際理事だより：安井克之国際理事」、「編集室：井村一男編集長」。「エリア・フォーラム・リポート」は南米のウルグアイで開催されるFOLACフォーラムで、寺越委員が取材を担当する。特集は、東日本大震災から丸5年となる2016年3月に合わせ、震災後に追跡取材を行った岩手県・陸前高田、宮城県・南三陸志津川、福島県・飯舘の3クラブ代表者による座談会を企画し、被災クラブの5年間を振り返る。

4月号は特集「子どもの貧困」、「国際理事だより：佐藤宜之国際理事」、「編集室：寺越愼一委員」。特集は、山田国際会長が特に力を入れているテーマでもあり、子どもの貧困問題の現状や対策、また実際に行われている支援活動の事例などを紹介する。

5月号以降の特集企画について検討した。幾つか出された案の中から、「難民問題」「100周年記念コミュニティー・レガシー・プロジェクト」、「国際協会100周年の歩み」の3件を採用することとし、「国際協会100周年の歩み」は100周年の年度初めとなる7月号の企画とし、残りの2件については併行して準備を進め、準備が出来たところで委員会で内容を吟味し、掲載号を決定する。その他、5月号は「国際理事だより：西川義規国際理事」、「編集室：中村房雄委員」となる。

6. ライオン誌デジタル化

第3回会議で検討に入ることを決めた、1958年の創刊以来のバックナンバー全ページのPDF化について、作業を分割して見積を取ったところ、①JPEG画像からのPDF作成（OCR付加作業込み）に対して資料のデジタル化を専門とする業者からかなり安価な見積が提示され、④記事検索プログラムと共に、この2点については予算を完全にクリアしている。その

一方、②レイアウトソフト (QuarkXPress) データからのPDF書き出しと、③デジタルマガジン化の2分野については、上記2点との比較だけで考えた場合、大きく開きがある。②と③は対応出来る業者が限られるため、どこまで金額を下げる事が出来るか難しいところだが、今後、ITアドバイザーとも相談の上、現実的かつ具体的な上限を決め、実現に向け更に検討をしていく。

2018年以降のライオン誌デジタル版移行について、佐藤国際理事から紙ベースの可能性を完全に排除していいのか、国際協会の方針とは別に日本におけるライオン誌の在り方を委員会として検討すべきではないかとの意見が出された。これを受け、現在佐藤委員が担当してデジタル版作成について検討を行っているデジタル化小委員会の作業とは別に、幾つかのシミュレーションを作り、議長連絡会議とも協調の上、全国のメンバーを対象にライオン誌購読に関する意識調査を行うことも視野に入れ検討していくこととする。

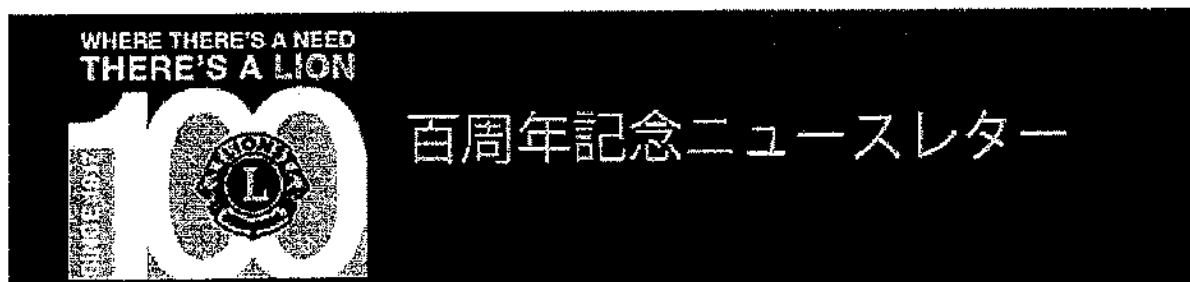
7. その他

- ライオン誌サポーター・アンケートについて検討した。前議案に関連して、「Web化することが全てではなく、どのように折り合いをつけるかが大切」「デジタルになって単にPDFを掲載するのではもったいない。リアルタイムでの更新が無いと『三日前の古新聞』になってしまう」「オンラインで読める環境にある人が何パーセントあるのか、その中でライオン誌をデジタル媒体で読みたいと思う人がどれだけなのか、まず基礎調査が必要ではないだろうか」など、さまざまな意見があることが紹介された。
- 広告代理店から審査依頼があったクライアント2件について掲載可否を検討した結果、同梱広告ということもあり、今回は2件とも掲載を見送ることになった。

閉会あいさつ 塚田雅二委員長

【次回以降委員会開催予定】

2月9日(火)	13:30~16:00	第7回会議	日本ライオンズ事務所
2月12日(水)	13:30~	監査委員監査	日本ライオンズ事務所
3月10日(木)	13:30~16:00	第8回会議	日本ライオンズ事務所
4月7日(木)	13:30~16:00	第9回会議	日本ライオンズ事務所

SHARE    MORE...

ライオン各位

私たちには一世紀近くにわたり、奉仕を通して地域社会を強化してきたという伝統があります。私はこの一年間、世界中のライオンズが100周年記念奉仕チャレンジに参加し、奉仕を通じて導くことにより、献身の決意を新たにする様子を目にしてきました。ライオンズはまた、100周年記念会員増強賞を目指し、招請によってインパクトを高めることでその奉仕を拡大し続けています。

皆さんは奉仕への呼びかけに耳を傾け、ライオンズだけに可能な形でそれに応えてくださっています。

そして今、100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトの企画によって、「われわれは奉仕する」という私たちのモットーを次のレベルへと引き上げる時が来ています。レガシー・プロジェクトは地域社会に贈り物をするすることで、私たちの100周年を記念し、各クラブの奉仕の証を永続的に残そうとするものです。

皆さんの贈り物は、地域社会に対するクラブのインパクトを思い出させ、より良い未来へのライオンズの献身を表すシンボルとなるでしょう。すべてのクラブが機会を活かし、この画期的なプログラムへの認識を高めて独自のレガシー・プロジェクトを企画していただければ幸いです。

私たちが100周年を記念し、奉仕の次世紀に備える中で、皆さんのクラブが引き続き驚くべきインパクトを発揮してくださることを楽しみにしております。

ライオンズクラブ国際会長
山田 実紘

独自のレガシー・プロジェクトを企画しよう

すべてのクラブは100周年記念期間にレガシー・プロジェクトを行い、地域社会とのつながりを深めることを奨励されます。レガシー・プロジェクトは、目に見える贈り物をする事で私たちの100周年を記念し、各地域社会に特有のニーズに応えるものです。この機会にレガシー・プロジェクトを行い、奉仕を通じた貢献の証を永続的に残してください。MyLCIのアクティビティ報告でプロジェクトを報告すれば、100周年記念の特別な表彰を受けられます。



[100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクトのページ](#)を訪問し、今日にでもプロジェクトの企画に着手しましょう！

クラブ100周年記念企画ガイドをダウンロード



皆さんのクラブが100周年記念に成功できるよう、クラブ100周年記念企画ガイドによって備えてください。クラブの計画を立てることで、100周年記念奉仕チャレンジを支援し、100周年記念会員増強賞を通して奉仕のインパクトを高め、レガシー・プロジェクトによって地域社会に奉仕の証を残すために役立てましょう。



今すぐLions100.orgで [クラブ100周年記念企画ガイド](#) をダウンロードし、クラブが100周年記念成功への道を歩み続けられるようにしてください。

さらに充実した100周年記念ツールボックスを確認

新たに拡張されたLions100.orgの100周年記念ツールボックスを訪問し、100周年記念を成功させるために必要なツールを入手してください。このツールボックスには、パンフレット、企画ガイド、FAQ、PR資料など、皆さんの100周年記念を成功に導くために役立つ優れた資料が満載されています。

最近Lions100.orgの [100周年記念ツールボックス](#) を見ていない方は、今日にでも確認するとよいでしょう！

100周年記念に関する確認事項

- 最近、すべてのライオンズに簡単なアンケートを送らせていただきました。できるだけお早めにご回答いただき、ライオンズの奉仕の将来を構築できるよう手を貸してください！
- 100周年記念の名札やピンなど、[国際協会のストア](#)では最新の100周年記念関連用品をご用意しています。
- 今後も100周年記念の道路看板、ステッカー、ブロンズの盾といったクラブ用の記念品がかなりの割引額で提供されますので、レガシー・プロジェクトにお役立てください。
- 100周年記念の奉仕事業とレガシー・プロジェクトの報告は、必ずMyLCIのアクティビティ報告で行ってください。
- 100周年記念に関する最新のニュースや情報は、すべて[Lions100.org](#)でご確認いただけます。





2015-16 議長会/日本ライオンズ事務所内 〒104-0028 東京都八重洲 2-6-15 JOTOビル9階
Phone: (03)6262-1263 Fax: (03)3241-4388 E-mail: jlo@jade.plala.or.jp

(Eメール文書)

2016年1月18日

各地区ガバナー殿
各地区第一副地区ガバナー殿
各地区第二副地区ガバナー殿

国際理事会アポイントィ
鈴木 誓男
議長連絡会議世話人
近藤 正彦

2016年3月12日(土)

国連ライオンズデー (LDUN) への参加ご案内

拝啓 頌春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素はライオンズム昂揚のために格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年日本ライオンズ・ガバナー協議会及びLCI太平洋アジア課のメール(12月22日付)でもご案内されております通り、来る3月12日、ニューヨークの国連で開催の国連ライオンズデーへのご参加をご検討頂きたく、広く貴地区内のメンバーの皆さまへのご案内をお願い申し上げます。

参加資格はライオンズ会員であればどなたでもご参加いただけますので、是非この機会に多く方がご参加頂けますようご案内申し上げます次第です。

早々

添付：案内一式

2016年3月 国連ライオンズデー(LDUN)

参加のご案内について：

- ・日本ーニューヨーク間往復フライトは各自で手配の上、LDUNの公式ホテルである「グランドハイアット・ニューヨークホテル」へご集合ください。
- ・ホテル到着後はLCI手配のグループ行動となり、プログラム登録料(\$75)、3/12昼食会費用(\$55)、国連見学ツアー費(3/11)移動費、宿泊費等が別途かかります。
- ・参加希望者は別紙にご記入後、日本ライオンズ事務所まで(担当：濱田)お知らせください。
(jlo@jade.plala.or.jp)
- ・同事務所からLCI担当者へ参加者の情報を取り纏めの上、申し込み連絡を致します。
日程詳細等は追って入り次第お知らせいたします。
- ・最終申込締切は2月26日(金)となります。

暫定日程：

3月10日(木) 日本発 → 同日ニューヨーク着

(宿泊先：グランドハイアット・ニューヨーク)

3月11日(金) 昼： 国連見学ツアー (オプション：事前登録制、別途料金)

16:00-18:00 インターナショナル・レセプション

(グランド・ハイアットホテルロビー)

3月12日(土) 10:00-16:30 「国連ライオンズデー (LDUN)」 国連会議場にて開催

(昼食会あり \$55)

3月13日(日) ニューヨーク発 →

3月14日(月) → 日本着

(ご参考までに) 直行便 (2015.12月現在) - 他航空会社便もあります。

(往路) 成田発 ニューヨーク (JFK) 着 NH10便 (11:00発、同日09:30着)

JL 6便 (11:00発、同日09:55着)

(復路) ニューヨーク (JFK) 発 成田着 NH 9便 (11:15発、同日15:25着)

JL 3便 (09:15発、同日13:25着)

FAX先： 03-3241-4388 (日本ライオンズ事務所気付)

または Eメール先： jlo@jade.plala.or.jp

国連ライオンズデー(LDUN)参加申込書

33 ー 地区

ご氏名(ふりがな)： _____

パスポート表記ローマ字綴り： _____

お役職名または所属 LC 名： _____

宿泊予約について：

Grand Hyatt New York 予約： LCI へ依頼 自己手配 _____

(✓印をつけてください)

(チェックイン日：3月 日 チェックアウト日：3月 日)

☆部屋タイプ： シングル ツイン

☆プログラム登録料 (\$75) 全員必要です。

☆昼食会 (3/12) (\$55) 参加 不参加

☆国連見学ツアー (3/11) * 参加 不参加

*オプション、料金は追ってお知らせします。

☆参加者連絡先情報☆

携帯番号または日中連絡先： _____

Eメールアドレス： _____

現住所：(ふりがな)

